大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　九月二十七日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通一行　壹圓五拾錢　特別一行　貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯部專用三三二五　營業部專用三三〇〇

發行人　十河榮忠
編輯人　松本男
印刷人　水越内之介

重臣並に首相も一木樞相の勇退希望

内閣が代つても氏が在職する限り機關説問題の根本解決不能

【東京國通】機關説問題は遂に重臣の進退問題にまで波及し牧野内府を中心とする重臣方面では頗る憂慮し内々對策を考究してゐる模樣であるが一木樞相の引退實現せず岡田内閣が倒れ、次の内閣が出來ても一木樞相が在職する限り機關説問題の根本解決は不可能なので、何とかして一木樞相をして圓滿引退せしめたき希望を有してゐるものの如く岡田首相もこれに力を得て樞相の自發的勇退を期待してゐる模樣である

【寫眞は一木樞相】

機關説絶滅、國体明徴の政府再聲明内容

【東京國通】政府は二十五日の閣議の決議に基き從來内務、文部、司法の關係各省に於て國體明徴に關し實行し來れる事項を取纏め一般に公表することとなり資料を蒐集中であつたが二十六日迄に大體纒つたので愈々二十七日の定例閣議に諮り各閣僚の承認を求め同日正午政府から發表することとなつたが政府の實質的再聲明と謂ふべき發表の概要は大體左の如きものである

一、政府は去る八月三日國體明徴に關する聲明書を發表して以來今日に至る迄所謂天皇機關説絶滅のため政府の全機關を以て努力し之が主旨徹底を期しつつあるが將來も引續き國體の本義を明徴ならしめ苟も國體に反するが如き學説の一掃に萬全の對策を講じ之が實行に努力するは勿論である

一、政府が現在迄になし得たる國體明徴に關する措置は左の如きものである

イ、發禁著書四十種
ロ、大學專門學校憲法講座に關する講義内容の改訂
ハ、國體明徴の講演會開催
ニ、パンフレットの刊行

閣議前四相會議を開催

【東京國通】廿七日の閣議に於て行はれる小原法相の第二次聲明は美濃部問題解決の最後の鍵として其内容は注目されてゐるが、公表範圍は刑事訴訟法に基き局限されてゐるので軍部大臣が納得するや否やは疑問視されてゐる岡田首相は本日圓滿解決を期待し後日紛糾の起らぬやうに希望し閣議前小原法相並に川島、大角兩軍部大臣と四相會議を開き意見の一致に努力する筈である、此閣議前の工作が充分成功の域に達するや否やは閣議の動向をトするものとして注視されてゐる

對支單獨援助の肚を極むリ卿

【上海廿六日發國通】リースロス卿は昨朝七時カドガン英大使同道南京より回滬カセイホテル内に事務所を設け愈々本格的工作に取かかる事となつたが一方孔財政部長も昨夜南京發來滬リースロス氏を主賓に晩餐會を開き當地金融界領袖の紹介を兼ねて懇談の筈である、尚近くリースロス卿は宋子文、孫科氏等とも正式會見の豫定であるが氏は廣田外相、重光次官との會見の結果英國より携行の第一案を放棄し對支單獨援助の肚を極めた模樣で當地滯在豫定二週間の間に隨員への手で資料を蒐集すると共に金融界領袖と意見を交換しクレヂット設定により支那通貨をポンドにリンクする案を中心に對支援助の具體案を進める模樣である

廿二日衛戍司令に就任式直後の宋哲元氏と横は參謀[illegible]生氏

協和會愈よ新陣容で活躍

平島次長着任と共に

協和會中央事務局次長に決定した平島敏夫氏は廿六日あじあで着任したが、これと共に阪谷前次長は專任理事となり結城專任理事と共に今後も協和會の爲に働く筈である、平島次長の着任に依つて協和會の新陣容はここに整備したわけである、協和會に於ては曩に去る八月人事異動、新人の採用と共に改組擴充を行ひ五十六の辦事處を七十六に增加し十省事務局と七十六の辦事處と併せて八十六の地方機關を有つに至つたが、平島新次長の着任と共に愈々新しき第二段の活動を開始することとなつた、十一月中に縣聯合協議會を開いて地方民衆の聲による協和會の活動事項を協議する事となつたが、之に次で來年二月には各省に於て省聯合協議會が開かれ、三月には新京に於て全國聯合協議會が開催される事となつて居り、新陣容による協和會の活躍は刮目すべきものがある

協和會理事會

議題

滿洲國協和會では來る十月二日國務院にて理事會を開催するが提出議案は去る三月開催された協和會全國聯合協議會の結果報告をなす筈である

着任の平島次長語る

滿洲國協和會中央事務局次長として正式着任した平島敏夫氏は二十七日朝次長室で左の如く抱負を語つた

改組以來の方針に基いて誠心誠意邁進する決心である、僕は協和會が昭和七年東京に辦事處を開設して以來顧問として又最近では東京支局委員として委員會を通じて日本政府並に民間との交渉に當つて來たので會の精神は充分体得した積りだ、具体的な工作方針は今後充分勉强してから樹てたいと思ふ、滿洲國が僕を必要とするなら骨を埋め樣し要らないといふなら滿洲を離れるまでだ、地方課長として滿鐵に六年在任したから滿洲國の建國事情も知つてゐる、然だつて若い者には負けない積りだ、代議士の椅子を惜しげもなく捨てゝ滿洲建設のために盡さうといふ平島次長は青年のやうに元氣一杯である

和協工作の余地全くなし

委員會報告書發表

【ジュネーブ廿五日發國通】聯盟事務局は廿五日午前五人委員會の作成した報告書を發表した、右は廿六日の理事會に提出されるが、全文は四頁から成るので主文は極めて簡潔に今日までの和協工作の經緯を述べたに止まるが要するに最早和協工作遂行の余地がないと報告したものである

津田司令官北平着

【北平廿六日發國通】駐滿海軍部司令官津田中將は左近司中佐、向野機關中佐、岡部副官を帶同、飛行機にて承德より廿六日午前十一時北平南苑飛行場に到着した、尚ほ津田中將一行は廿五日秦皇島に入港今夕來平する第三艦隊司令官百武中將以下諸將星と共に三日間に亘り北平内外の觀察を行ふ筈

和協手續は繼續

十三人委員會組織

廿六日理事會の決定

【ジュネーヴ廿六日發國通】聯盟理事會は二十六日開催、伊エ紛爭問題を審議し左の事項を決定した

一、規約第十五條三項の和協手續き繼續する事

一、第十五條四項の勸告を載せた報告書起草の爲十三人委員會を組織する

一、五人委員會は依然存續せしめる

斯くて理事會は此の會議を最後に廿六日夜一旦休會するに決定した、而して總會も廿八日休會に入るが何れも再開期日を定めず休會後不測の事件が惹起すれば理事會は廿四時間以内に、總會は四十八時間以内に招集される筈である、尚十三人委員會の勸告は十日以内即ち十月四日迄作成にする事となつた

縣議當選者

廿六日午後六時現在

【東京國通】廿六日午後六時半迄に判明した府縣會議員當選者（無投票當選者を含む）各派別數は左の如くで民政黨は七十名政友會をリードして斷然優勢を示してゐる

政友	二九一
民政	三六一
國同	一二
無産	一九
その他	一九
中立	五七
合計	七五九

松岡滿鐵總裁

鐵道の一元化を語る

【大連國通】本日の定例會見で松岡總裁は左の如く語つた

鐵道の一元化と云ふことは誤解され易い言葉だが此の問題は先づ第一段の方法として全滿鐵道を單一機構の下に重複を避け事務の簡捷、經費の節約を主眼として行はなければならない、案は色々な人の試案も見たし私自身も考へてゐるので關東軍の人々とも相談してやるつもりだ、大連汽船には社長に安田君を持つて行くことにしたが之は海運事業の專門家である、私の考へてゐる大連港を極東の中繼港とする理想に近づいて行く爲めで私は今後大汽を海上の一翼として大に重視して行くつもりだ

滿ソ國境委員會設置

時期尚早と觀測

西課長本省へ報告

【東京國通】滿ソ國境紛爭調停委員會につき實情調査を行ふ爲に外務省から西歐亞局第一課長陸軍省から田村少佐が派遣されたが西課長から廿六日外務省への報告によればユレネフ大使の試案は滿洲の實情に適合せぬのみならず根本問題として委員會の設置は時期尚早となしてゐる外務省では西課長の歸京を待つて外務陸海軍首腦部會議を開きソ聯の試案に對案を提示するか否かにつき最後的方針を決定する豫定であるが相當曲折を免れないものと見てゐる

南軍司令官

奉天に於る視察日程

【奉天國通】南關東軍司令官は今次の奉天防空演習視察のため廿七日午後一時十三分着列車で來奉したが同軍司令官の奉天に於る日程は左の如くである

▲二十七日　午後二時ヤマトホテル發防衞司令部に至り三毛演習統監、谷田聯合防護團長より狀況を聽取後司令部内を視察同四時四十分司令部發城内吉順洋行に赴き第三區防護演習を視察、同三時卅分吉順發ヤマトホテルに歸還同七時四十分よりホテル屋上において燈火管制狀況視察

▲二十八日　午前七時十分よりホテル屋上に於て第一區防護演習視察同九時ホテル發奉天驛へ同九時十分發撫順に赴き同地の防護演習視察午後五時十分奉天驛着ヤマトホテルに投宿一泊

▲廿九日　午前七時廿分ホテル發奉天驛へ同七時卅分奉天驛發

同時東京驛發廿九日午後京城到着の豫定（寫眞は齋藤子）

齋藤元總督京城に向ふ

施政廿五年記念式出席の爲

【東京國通】元朝鮮總督齋藤實氏は朝鮮施政廿五年記念式に參列のため廿七日午後十一

その日く

□

府縣會議員の選擧、開票毎に民、政初め既成政黨の數のみ殖えてゆく

□

選擧肅正は利いたであらうが出て來た議員既成政黨人じやどうかと思ふ

□

昨は關西に風水害、いま又風關東を荒す、未だ稻の實らざるに

□

愛慾のきづな絶ち難く、職を失ひ、盜みを働き宿料を踏倒し警察に御厄介

□

余りにも人生を太く短く考へ過ぎた青年男女、人生勉强が足りなかつたわけ

人事往來

▲小野寺武夫氏（會社員）二十六日午後來京新京ホテル
▲柏木ツル子氏（舞踊家）同
▲副島秀九郎氏（國際運輸社員）同
▲鹽田信次氏（電々社員）同
▲長田清氏（同）同
▲辻猛三氏（三菱造船技師）同
▲木立梅吉氏（滿洲計器會社員）同
▲小松警視（旅順警察署長）二十七日午前來京
▲李銘書氏（吉林省省長）同
▲久下沼警視（大連警察署長）同
▲中西敏憲氏（滿鐵總務部長）同
▲南大將（關東軍司令官）二十七日午前發奉天へ
▲原田警視（金州警察署長）同來京
▲大島誘价氏（京都大澤商會）二十六日午後來京名古屋ホテル
▲伊藤大次郎氏（朝鮮計器製作所重役）同
▲荻原喜義氏（同所員）同
▲長谷部銳吉氏（建築業）同
▲長井幸三郎氏（鐵路局）同
▲額田照雄氏（同）同
▲野口武男氏（大連時計商）同
▲東島善吉氏（安東製紙會社員）同
▲森島守人氏（駐在獨逸大使館一等書記官）同二十七日午前發ドイツへ
▲山本盛正氏（滿洲工廠社長）同來京名古屋ホテル
▲古川捨次郎氏（大阪商店員）同
▲徐程九氏（大同酒精會社々長）二十六日午前來京ヤマトホテル
▲本庄庸三氏（同副社長）同
▲又木周夫氏（日本自動車會社取締役）同午後來京ヤマトホテル
▲江崎重吉氏（滿鐵社員）同
▲諸富甕四郎氏（同）同
▲小林雅一氏（東京、内外編物會社常務）同

團体

▲大連專門學校附屬職業教育部生五十名二十九日午後七時三十五分來京二十八日午後四時發大連へ
▲金州農學堂生三十九名二十七日午後十時發南行
▲滿洲國體育聯盟奉天事務局選手六十五名二十七日午前七時來京三十日午前七時三十分發奉天へ
▲鐵道講習所電信課第一班四十名二十七日午前十一時三十二分來京同日午後八時發南行
▲炭業視察團二十六名二十七日午前九時五分發ハルビンへ二十八日午後三時四十分引返來京二十九日午前九時發南行
▲興安省政治訓練班二十名二十八日午前六時二十五分來京二十九日午前七時三十分發南行
▲靜岡縣教育會皇軍慰問團七名二十八日午前九時五分發南行

＝光りの彼方に＝

約束（一）　25

（作者）大林梅子

以前の多美枝には、弱い性格の中にもどこか強いもの、あるのが見えてゐた。それが今の多美枝は、美しさにおいては以前に數倍すぐれてゐるが、その全部に、どことなく弱々しくたよりなく見えるのであつた。

だが、かの女の瞳には、どことなく嬉し氣に、そわ〳〵して志村を迎へゐるところがあつた。そして、環の背後から何となく默ひ勝げに、ジッと黑い瞳で、志村のはうを見詰めてゐるのです。

志村も、それに答えて、いつぱいの熱情をこめた瞳を送りかへしてゐました。

それは、瞳と瞳の接吻？――ともいへるものです。それは、お互に、戀し合つてゐる者同士でないと分らないものだつた。

それほど、ふたりの瞳の中には多くが語られてゐたのです。同時に志村は、多美枝も自分を愛してゐてくれることを、はつきりと知つたのです――。

しかし、其處には環といふものがゐるので志村としては、自分の言ひたいことを話し出すわけには行かなかつたのです――多美枝が、この屋敷へ來てから何どんなに過つてゐるか、そして、喜代一や環から、もうその戀を打ち明けられたのだらうか？　或は、話が、喜代一との結婚にまで行つてゐるのだらうか？――さうしたことを聞くことは、絶對に出來なかつたのです。

どうかして、多美枝とふたりになりたい。十分でも十五分でもいゝ。環といふ者のゐなくなることを望んだのですが、それは出來得ぬことでした。

環は、意地わるくこの部屋から離からうとしなかつたのです。それよりか、時々、自分の背後を振返つて見ては、多美枝に、鋭い深い瞳を投げつけてゐたのです。

すると、此時廊下にパタ〳〵と足音がして、

『どこへ行つたの？　タミエ！　よう――多美枝つたら……』

さう言つて、ふたりの子供がこの應接間のはうへ馳けて來たのです。

『はい、此處でございます』

多美枝は、子供達の聲を聞くと、直ぐ立上がつて、廊下へ出て行つたのです。

『あら、坊ちやん！　不可ませんわ多美枝さんはお客さまよ』

あとから追つてきた女中らしく、子供達にかう言つて連れ去らうとしたが、子供達は、却々肯き入れやうとしないのです。

そして、多美枝を取り巻いて、向ふの部屋のはうへ歩いて行く足音が聞えた。

志村は、多美枝がゐなくなると淋しくなつたやうな氣がした自分の前に、環と云ふものがゐなかつたら、或は、多美枝のあとを追つたかも知れないのです

『志村さん、今度の夏は、何處へもいらつしやらない？』

環は、思ひ出したやうに、こんな事を云つてゐた。

『えゝ何處へも』

『日曜は、大抵、おうちにゐらつしやる？』

『えゝ、大抵居ります』

『ぢや、今度、遊びにまゐりますわ』

『どうぞ！』

それで、二人の話は、また途切れた。

滿洲航空會社 ダイヤ變更さる

新航路も開設、新料金發表 十月一日から實施

關東軍司令部發表＝滿洲航空會社では十月一日より次の如くダイアの變更並に新航路の開設を見た

▲新京―羅南（淸津）（毎週火、土二往復）

地名		時刻
新京	發	八、〇〇
吉林	着	八、三〇
	發	八、三五
延吉	着	一〇、〇〇
	發	一〇、〇五
龍井村	着	一〇、一〇
	發	一〇、二〇
淸津	着	一一、〇五
新京	着	一四、四五
吉林	發	一四、一〇
	着	一四、〇〇
延吉	發	一二、二五
	着	一二、二〇
龍井村	發	一二、一五
	着	一二、〇五
淸津	發	一一、二〇

從來の敦化、圖們を廢止して延吉、龍井村飛行場を新設、龍井村羅南（淸津）間は十二月一日より開始の豫定である

▲新京（洮安經由）齊々哈爾線（毎週木、土二往復）

地名		時刻
齊々哈爾	發	八、三〇
洮安	着	九、三五
	發	九、四〇
新京	着	一一、〇〇
齊々哈爾	着	一四、一〇
洮安	發	一三、〇五
	着	一三、〇〇
新京	發	一一、二〇

▲奉天―通化線（毎週水一往復）

地名		時刻
奉天	發	八、〇〇
通化	着	九、一〇
奉天	着	一〇、三五
通化	發	九、二〇

十月一日より十二月卅一日迄就航の豫定

齊々哈爾、黑河線從來の北安鎭經由を嫩江經由に變更一週二回營業定期の就航となつた右のダイア變更新航路の開設によつて滿洲國の航空時代は更に一歩を前進した譯で殊に奉天通化線は東邊道の中心地通化の軍事、經濟、交通上の重要線として意義深いものとされてゐる、なほ新料金は左の如くである

區間	料金
奉天―通化間	二十一圓
新京―吉林間	十圓
新京―延吉間	三十七圓
新京―龍井村間	三十七圓
新京―羅南間	四十九圓
新京―洮安間	二十四圓
新京―齊々哈爾間	四十三圓
新京―嫩江間	六十六圓
新京―黑河間	九十一圓

人を喰つた詐欺犯

本年八月頃新京特別市大經路小島マキに對し電話機を買へば大いに儲かると言葉巧みにマキを卷き込み一千六百圓を詐取逃走した元某生命保險外交員田島信男こと田俊鐸の所在につき領警署は事件發覺と共に各署に手配し犯人逮捕につとめてゐるが田は目下熱河承德に轉居してゐる小島に對し殘高二千圓ある滿洲國中央銀行の預金通帳を送つてやつたので小島は領警に對し眞疑をたしかめて貰ひたいと二十六日右通帳を送附して來たので署では早速中銀について調べると田の預金は八月十三日四百四十圓七十錢引出し殘高は零となつてゐるに田は其の頭に二を記入して二千四百四十圓七十錢と改變してゐること判明あくまで人を食つた田の行爲には署員も呆れてゐる

冬期窮民救濟に乘出す市公署

隣保委員總動員で

九月も剩すところ五日となつて、そろ／＼冬季來の聲を聞く頃になつたが、市公署では酷寒の襲來と共に滿人勞働者を見舞ふ建築土木作業の停止とそれから來る彼等の生活の脅威に對し對處策を考究中の處、此の種の冬期の窮民救濟策が現在は、紅卍字會や道德會外十余の社會事業團体の施粥所設置となつて飢民を賑はして居るも此等の團体の經費が充分でなく、徹底しない恨みがあるのに鑑み、今春創設の隣保委員の活動を促すことゝなり、廿六日各官署の廢棄封筒によつて出來た積米封筒を市內各戶に配布して、米穀金品を貰ひ受け之を市公署から、各慈善團体に配給し窮民救濟に充てることゝなつた、廿六日隣保委員の手を經て配布した積米封筒は大さ約一升餘入りの袋三千個で市公署では冬期中此種の事業を繼續する筈でその成果は期待されてゐる

洗張屋の横領外交員

本籍愛媛縣溫泉郡荏原村上野五五六番地元奉天藤浪町五六洗張店にしき屋外交員砂野正之（三六）は本年三月頃得意先より三揃洋服一着大島つむぎ外四點を預つたのを奇貨としそれを横領して逃走來京、市內日之出町一丁目東發號に藤田富次（三九）と僞名して投宿してゐたのを新京署員に逮捕された

御難の陰陽佛 販賣罷りならぬ

新京署から禁止命令

陰陽佛の受難―近來國都の發展に伴ひ殺到する視察團體、旅客を目あてに、蒙古喇嘛密敎の祕佛たる勸喜天陰陽佛を

鑄造 又はプロフイド型の寫眞にして（大連市西細西寫眞大觀社發行）店頭に飾り立てて販賣してゐるものが眼立つて來、市民の子女教育の見地からしても子を持つ親はウッカリ町を步けない狀態であり、加えて風敎上も面白くないので、新京警高等係では之が對策考究中の處、二十七日斷然たる處置をとることになり、富士町某店を始め數軒の土產店を一齊臨檢し、佛像數百體、寫眞數百枚を押收して引上げたが寫眞は即日風俗壞亂に依る行政處分を行ひ、佛像は一應陳列販賣を

禁止 することゝなつたが、右につき岡田高等主任は左の如く語つた

何と言つてもあゝした種類のものを公然と群衆の眼にふれる所に陳列したり販賣したりすることは誠に困つたもので、遂に今回の司直の發動となつたものです子女教育の見地から見ても實際面白くないと思ひます今後も此の手を緩めず禁を犯すものがあれば嚴重處分する方針です

大阪商船の北鮮航路愈よ充實

大阪商船では一昨年五月貴州武昌の二隻を以て大阪淸津線を開設昨年五月拉濱線開通を機に慶運丸を增配して三隻となし本年一月又々河南丸を加へ四隻を以て一週二回の定期を續航して裏日本北鮮相互間の交通に多大の貢獻をなして來たが最近羅津建設の進捗背後諸鐵道機能の躍進等着々北鮮三港が日滿鮮交易の新經路としての面目を一新しつゝある現勢に鑑み今回最新式新造優秀船二隻即ち十一月九日には洛東丸、十二月初旬には大同丸を本航路に配船することゝなつた、因にその要目は重量四、〇〇〇噸、總噸數二、七〇〇噸、長さ二九四呎、速力一三節半の由である

星、若林兩部隊 列車襲擊匪を潰滅

【吉林國通】廿三日午前三時敦化を出發した星部隊〇〇名は廿五日琵琶溝（敦化西方五十七キロ）の西方一キロの地點に於て列車襲擊匪約二百と遭遇直ちに交戰、一方蛟河より追擊中の若林部隊〇〇名は星部隊と策應し敵匪の側背より攻擊し激戰三時間にして匪團に殲滅的打擊を與へて鐵道沿線州區に潰走せしめた、此の戰鬪に於る敵匪の遺棄死体は十九に上り、小銃、拳銃多數を鹵獲したが若林部隊の川端武一等兵は胸部に貫通銃創を受け名譽の戰死を遂げた

凄慘を極める群馬縣下の水災

死者行方不明三百餘

【前橋國通】群馬縣下を襲つた未曾有の豪雨の被害は二十六日午後十一時現在群馬縣保安課で纒めたところによれば死者實に百七十四名、行方不明（全く絕望）百三十九名、重傷六十名、輕傷二百七十六名、死傷者總計六百五十名、家屋の倒壞二百一戶、同流失二百三十六、浸水八千百九十一戶、田畑流失約六千町步、被害總額一千萬圓を超へる見込みである

四萬、澤渡兩溫泉全滅に瀕ず

【前橋國通】廿六日夜群馬縣保安課に達した報告によると群馬縣吾妻郡四萬溫泉と澤渡溫泉は殆んど全滅に瀕し、溫泉旅館の流失したもの四萬溫泉の卅六戶を始め流失總戶數五十一戶、午後九時まで四萬澤渡兩溫泉で發見された死體は男廿六名、女廿九名、合計五十五名で慘鼻を極めてゐる尙目下行方不明の者八十名以上に上るが交通機關は悉く杜絕した爲その他の詳細は判明しない

常盤線不通

東北線ダイヤに大狂ひ

【東京國通】東北線栗橋鐵橋の不通により東北と東京とを結ぶ唯一の道となつた常盤線も廿六日午後一時に至り橋上安孫子、取手間の利根川鐵橋は廿六センチ浸水狀態となり危險に瀕したので工夫、在鄉軍人、青年團等總出動で警戒を行ひつゝ辛くも徐行運轉を行つてゐたが午後一時下り線は遂に運轉不能に陷り上り線のみ徐行運轉してゐるが之も間も無く不通となる見込みで東北線のダイヤは目茶々々となつた

明治四十三年以來の被害

【東京國通】利根川を中心とする關東大平原の大洪水は明治四十三年來のもので、東北本線、常盤線、信越線その他各線は鐵橋墜落、線路の流失で全部交通杜絕となり農產物の被害等と共に損害は數億圓に上るであらう

渡良瀨川增水せば

埼玉大半浸水か

【東京國通】埼玉縣知事より廿六日正午內務省への報告によると栗橋町の利根川の水勢は午前十一時には水量七米六十八で堤防面まで零米八十三で危險に瀕し消防總動員で防水作業を開始した、尙群馬より流入せる渡良瀨川の增水と相俟つて危險增大、堤防決潰をみる場合には埼玉縣大半浸水をみよう

茨城縣高須村 水田三千五百町步浸水

【土浦國通】昨廿六日午後四時茨城縣北相馬郡高須村の小貝川堤防缺潰し附近各村水田三千五百町步浸水し高須村では五十戶流失、消防手四名行衞不明となつた、午後十時水戶聯隊工兵百八十名が出動警戒中である

茨城、千葉兩縣下被害甚大

【水戶國通】茨城縣下に於ても水害の被害頗る甚大で縣下北相馬郡小貝川氾濫により家諸共に八十四名濁水に呑まれ今尙生死不明であるが、恐らく溺死したものと見られる、尙縣下には水浸しとなつた村落多數あり、茨城縣と接する千葉縣北部の香取郡豐浦村の一部落は利根川氾濫の爲交通杜絕し、救助方法もなく同部落は全滅と見られてゐる、又大利根から霞ヶ浦を繫ぐ水鄉一帶は上流より流れ來る濁流の爲に廿七日朝は尙大氾濫の危險にさらされてゐる

碓氷トンネル土砂崩壞

【輕井澤國通】信越線の輕井澤、熊ノ平間碓氷峠の第二、第三トンネルは午後一時に土砂崩壞し磯部、松井田間は碓氷川の氾濫により鐵橋破壞の危險に瀕した

蛟河森林事務所 吉林へ移轉

實業部蛟河森林事務所は吉林省城三道碼頭江沿岸へ移轉した

南新京敬老會

西本願寺婦人會、南新京驛共同主催の敬老慰安會は既報の通り二十八日南新京驛構內花園で催される、參加者は六十、七十の爺さん、ばあさん五十五名で午前十時四十分新京發列車で南新京にゆき午後四時新京にかへります、催し物は寶探し、福引、希望者には新京一の高い建物新設給水塔上に案內される

社員會慰安會

二十七、八の兩日に亘り西廣場小學校講堂において滿鐵社員秋季慰安會を行ふが演出は豐竹小糸一座の手踊（身振り芝居、舞踊等で場內整理のため大人十錢、小人五錢の入場料を要すると

料亭〝鯉川〟新築

市內日本橋三八靑山作次郎氏は「新三笠」を經營してゐたが今回大飛躍を志し日本橋通料亭目拔の場所を卜して新築中のところ此程完成したので內外ともに更新家號も「鯉川」と改め大いにサービスにつとめることゝなつた

あす（廿八日）

▲午前九時から西公園で第四回全滿體育大會
▲正午美術協會寫生講習新驛集合
▲午後七時西廣場小學校で滿鐵社員秋季慰安會
▲午前九時から江藤純平畫伯個人展第二日公會堂樓上
▲午後九時から公會堂で山下隆弘氏の理容講習第二日
▲正午ヤマトホテルで官民合同岩佐中將送別會
▲南新京驛と西本願寺婦人會主催の敬老慰安會午前十時四十分新京驛

今晚の主なる放送番組

▲七・〇〇長唄吾妻八景（東京）吉住小三枝外▲七・二〇ラヂオドラマ秋晴れ（東京）築地座▲八・〇〇小唄（京都）春日とよ香▲八・一〇ラヂオ小說藥人形の婿（東京）澤村田之助

けふの銀相場

國幣對金票	[illegible]
鈔票對金票	[illegible]
國幣對鈔票	[illegible]
現大洋對鈔票	[illegible]

愛慾の絆絕ち難く 遂に留置場に泣く

元國道局員の宿料踏倒し 死場所を求めて彷徨、得ず

靑雲の志を抱いて渡滿、僥倖にも滿洲國に就職したがふとした動機で見初めた女にうつゝをぬかし職を棒に振つたのみか宿泊料を踏み倒し新京署の留置場で冷い夢を結んでゐる無分別な男がある―市內日之出町二丁目扶桑旅館より宿泊料八十餘圓を踏んで逃走した夫婦連れにつき新京署では所在搜查中二十六日午後十時頃

極力 市內大和通太平旅館に投宿せる河野萬治同人妻靜子の擧動に不審の點があるので本署に連行取調べると男は本籍廣島縣比婆郡上高野山村新市六二一生れ元滿洲國國道局官吏前山芳勇（二五）、女は本籍大分縣速見郡朝日村鶴見生れ元市內吉野食堂女給阿部貞子（二一）で扶桑旅館より前記宿泊料を踏み倒して逃走したことを自白した、前山は大志を抱いて本年春渡滿奉天にて就職運動中とみや食堂に女給として働いてゐた阿部貞子と割りない仲となり末は夫婦と逢瀨を樂しんでゐるうち前山は僥倖にも滿洲國國道局に就職熱河平泉に

赴任 することゝなつた、南と北に別れた二人の間には三日に一度づつ愛情こめた手紙の往復がつゞけられてゐるうち最近貞子は親元から緣談を持ちかけられたが貞子は前山を振りきつて親元から勸められる男の下に走ることは出來ず其の旨前山の許にレターとなつて屆けられた、手紙を見た前山は前後の考もなく職を棒に振つて奉天の貞子の下に飛んで來て貞子を連れ出さうとしたが食堂ではどうしても貞子に暇をとらせぬので二人はしめし合せ本月七日の晚貞子は着のみ着のまゝで前山と手をとつて來京八日日之出町二丁目扶桑旅館に投宿夫婦氣取りで每日ぶら／＼市內を遊び廻つてゐるうちいつの間にか所持してゐた百二十餘圓の貯へも殘り少なになつたので十七日貞子を吉野食堂に女給として住み込ませ前山は競馬で一儲けしやうと

考へ 競馬に行つて見たが所持金をすつかりすつてしまひ二人は途方にくれた結果二十五日貞子は同僚の晴れ着を窃取して着飾り前山と手を攜へて競馬場附近に死場所を求めて終日彷徨したが娑婆が諦め切れず、十五日大和通り太平旅館に夫婦然と投宿してゐたところを取押へられたものである

商大問題 解決

【東京國通】博士論文不通過より正教授、助教授團衝突より紛糾の責を負つて辭職した佐野學長の後任に三浦新七博士の就任により問題解決する模樣で、學生も二十七日から就學することゝなつた

山下隆弘氏の理容術講習

東京瀧の川の大日本美容術經營學普及會長山下隆弘氏は二十六日夜來京、新京理髮業組合のために同夜公會堂樓上第一會議室で斯業經營繁榮の方法および流線型刈の最新技術などの講習會を開いたが二十七日朝同組合幹部は挨拶に來社した、因に二十七八兩夜と講習、更に滿人斯業者のために二十九日講習を行ふ筈

武田所長歸京

北鮮方面の視察旅行中であつた武田地方事務所長は二十七日午後九時着ひかりで歸京する

岩佐司令官 別宴を張る

憲兵司令官に榮轉の岩佐中將は二十六日午後六時新京ヤマトホテルへ日滿各界の代表百數十名を招待別宴を張つたが宴酣なる頃岩佐中將起つて別辭を述べ之に對し張國務總理來賓を代表して岩佐中將の在任中の功績をたゝへ惜別と感謝の辭を述べ、交々乾盃祝福をさゝげ寬談後二時間で盛會裡に散會した

三十日赴任

關東憲兵隊司令官から憲兵司令官に榮轉した岩佐祿郎中將は三十日午前九時發赴任の途につくはず

一燈園三上氏講演

二十九日午後六時半から高女講堂において京都一燈園三上氏の「無一物中無盡藏」と題する講演會を開催する

第五分會の秋季射擊會

在鄉軍人分會第五分會の秋季射擊大會は來る廿九日午前八時廿分より陸軍射擊場に於て擧行さるゝことになつた

市公署の各處對抗野球

市公署では署員の保健と親睦を兼ねて廿八日午後一時より普通學校グラウンドに於て總務處長杯を爭ふ署內各處對抗（總務、工務、及び財務行政の聯合、計三チーム）軟式野球を催すことになつた

六大學リーグ 帝大大勝 對明治二回戰

【東京國通】帝大對明治の第二回戰は帝大好調にして强敵明を八對三で破つた、帝大は今秋豫想外に好調で曩に法政と引分けとなり早稻田と補回戰を演じたが勝星を得たのは此シーズン初めてゞあるスコア左の如し

帝大	2	0	0	0	0	0	4	0	2	8
明治	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3

仙人掌

女給「君代」のヒロインで艶やかな麗姿を謳はれた北條たま子、こん度は酒場「ゆりかご」のマダムに返り咲いてカウンターにおさまつたところ誠に目出度し「パトロンは？」などゝいはないこと▲家子郎黨も一寸笑へる淑女ばかり（一）鬪牛士の着るやうなマントを着て時々そのマントの下から儚ましいところを覗かせるルリ子（グリコでない、元赤玉の麗人）▲（二）美しい日光の自然の中で育まれたといふ宮子、それだけにナイーヴな感じを與へてゐますとか（三）美子―ミコと讀みます―丸顏の東京娘▲この陣容で安眞譜をカヴアーしてゐますが「お客さんが氣障つぽくてね」といふ「ゆりかご」ファンも居ります

天氣と氣溫

明日の天氣　西寄の風晴
日の出　午前五時三十二分
日の入　午後五時二十七分
月の出　午前五時五十八分
月の入　午後五時十分
けふの氣溫　最高　二十度二
　　　　　　最低　六度五

誰が殺したか

(禁上映上演) 國枝史郎作 龍造寺瀧畫

(一八〇) 第二の殺人 五十

皆川刑事は、大曲繁藏が入獄中にしたしくした、前科者をしらべ續けた。神田三次といふ、淺草で支那そばの夜店を往來に出して、どうやらその日を送つてゐる男を見つけて、その住居をさがした。

そして本庄に住んでゐることがわかつた。

それから、その近所でしらべてみると、見知らぬ男が、人目をしのんで同居してゐることをたしかめ、人相なども、大曲そつくりなので、小をどりするばかりよろこんだ。

それは、午後の四時頃であつた入口からチラとのぞく、繁藏がすぐ見えるところにゐた。

「おい、大曲!」

かういつて、ぬつとはいり込んだ皆川刑事の姿を見ると、大曲はアッと叫ぶやうな驚きを見せて、いきなり跳出さうとして、皆川刑事の眞正面から、ドシンとぶつかつた。

皆川刑事も、不意をくらつて、いさゝか狼狽しながら、いきなりきてゐるヘンテンをわしづかみにして、をどりかゝつてゆつた。

上着のヘンテンは、スルリと脱がれて、皆川刑事の手にのこつただけで、繁藏は、いちはやく往來へと逃げ出してしまつた。

「チよッしまつた!」

皆川刑事は舌打ちして、いきなり呼子を鳴らした。

はり込んでゐた刑事たちが

「それッ!」

とばかりとび出した。そして繁藏のあとを追跡した。

せまい路次を、飛ぶやうに走る繁藏に、一人の刑事が追ひつきさうになつた。

すると、前方から、どこかの小僧が自轉車を操らせてやつてきた

繁藏はなに思つたか、いきなりすれちがつた小僧の横面をピッシャリとなぐりつけた。面喰らつた小僧の自轉車は、よろ／＼と、倒れさうによろけ出して、繁藏に追ひすがらうとした刑事の横腹にドシンとぶつかつて、自轉車もろとも横倒れに、小僧はひつくりかへつてしまつた。

刑事は、ころがつた小僧に、つまづいて、自分も危く倒れさうになつたのを踏みこらへた。その隙に、繁藏はもう、三間ばかり走りぬけてゐた。

あとから追つてきた皆川刑事は大きな聲で。

「どろぼうッ…どろぼうッ!」

と叫びたてた。

兩側の家から、往來から、人々がとび出し、野次馬がくはゝつて刑事達といつしよに走り出した。

「どろぼうはどこですかな?」

「何でも走つてゆく方でせう」

「どこだへ／＼?」

「どろぼうはあつちだ!」

「あつちつてどつちだ!」

皆は、野次氣分で、笑つたり、ふざけたりしながら、わけもなく走つた。

十人が二十人となり、五十人となつて、黒くなつて走りつゞけた

ふと、ある家の前に、荷物をいつぱい積んだトラックがあつたので、繁藏はなに思つたか、そのトラックの前へちよつとからだをかくした。

(この篇今野賢三作)

笑話

彼「へえ、あなたがあの有名な畫家のモデルになつたことがあるんですか?」

彼女「えゝ、クレオパトラと銀といふ畫のモデルに立つたのですわ」

彼「へえ、で、クレオパトラのほうは誰がなりましたか?」

映畫と演藝

新映畫紹介 果樹園の女

——松竹蒲田作品——

島津保次郎の「お琴と佐助」に次ぐ作品でサウンド版である、栗島と島津の久方ぶりのコムビで原作脚色には北村小松が當り、撮影には水谷至宏があたる、さゝやかな果樹園を背景に淡い感傷の往來を描いた一篇、

(梗概)—父の跡をうけて、うらぶれた作家北見は奥さんと其妹フミ子の三人暮しで果樹園を經營してゐた。

フミ子が山本先生から戀文を貰つたのは山の遭難者宇佐美がきこりの仁造に背負はれて北見の家へ運ばれて來た日だつた。

—キャスト—

役	俳優
北見	山内光
奥さん	栗島すみ子
フミ子	大塚君代
宇佐見	本山多一
山本(小學校の先生)	齋藤達雄
秀子	龍田靜枝

フミ子は何んとなく宇佐美に戀心を感じて來た。果樹園の生活は外見のんきさうであつたが併し北見は今日も借金返濟に苦しむのだつた。幸か不幸かその日計らずも舊知の女優旅廻りの秀子に會つて金を融通して貰ひ、其上秀子の一行と問屋訪問旁々同行することゝなつた。

奥さんには一寸嫉妬らしいものが浮んで來た。北見の留守中宇佐美の母から奥さん宛お禮として爲替が送つて來たそんなことから奥さんと宇佐美の間に感傷的な氣持が湧いて來た。フミ子は不快であつた。が、歸つて來た北見には思ひがけない當選懸賞金が轉込んで來て果樹園は急に明るい空氣に包まれたそして人々の一切の感情が吹きとんで了つた。

宇佐美が東京へ歸る日、仲のいゝ北見と奥さん、フミ子と山本の姿が平和な陽をうけて靜かに見えた。(二十六日より長春座上映—スチールは栗島すみ子と山内光)

番組變更

長春座廿六日より
新、帝廿七日より

長春座二十六日よりの番組は左の如く松竹もの三本立

△島津保次郎作品「果樹園の女」

△宗本英男作品「船頭可愛いや」懸賞當選ストオリイの映畫化、本間一の原作脚色になるものを新進宗本英男がメガフォンをとつたもので撮影には杉本正二郎があたり、音樂指揮に堀内敬三の名前が並ぶ、主演者は桑野通子、市村美津子、上原謙、河村黎吉等、渡守の姉妹をめぐる水郷哀話が抒情的に描き出されてある

△大下宗一作品「血刄の舞」結城一朗と阪東橋之助が初めて顔を合せる作品で、中村滋の原作脚色になる舞を基調としたやくざと舞師匠の交渉を描いたものでキャメラは伊藤武夫

新京キネマ二十七日よりの番組は左の通り

△P・C・L映畫「三色旗ビルディング」サトウ・ハチローの原作を小林正、永見隆二が脚色し、木村莊十二が監督作品したもの、主演者は德川夢聲、神田千鶴子、加賀晃二其他P・C・L獨得の顔振れが並ぶキャメラは三村明

△日活映畫「天明からくり草紙」お家騷動を背景に若き男女の活躍を描いた辻吉朗の大衆もの、脚色は小磯夏男、キャメラは三井六三郎主なる出演者は澤村國太郎水之江澄子、高瀬實乘

△日活映畫「十二番の聖教」中野實の原作になるものでかつて東京新派によつて上演されたこともある、吉村操監督を初め島耕二、瀧花久子、小杉勇等の復歸第一回作品である、苛酷な執達吏が深刻な人間悲劇の前に悔恨の涙する、その經緯を描いた悲劇である

帝都キネマ二十七日よりの番組は左の如く決定した

△寛プロ映畫「荒木又右衛門」マキノ正博の監督する巷說「荒又」で仇討發端より大詰までを十六卷の長尺にまとめたもの、脚色は並木鏡太郎、主演者は御大寛壽郎はじめ高津慶子、阪東橋之助其他、三十六番斬りなど痛快な場面が連續、大向ふを唸らせるであらう

△新興時代劇「怪談津の國屋」鈴木澄子を怪談の主人公にする趣向は今に始つたことではない、今度尾上榮五郎がつき合つて例の好く濃艶味を點出しやうといふ厨子與三の作品

△メトロ映畫「快賊デア・ボロ」二人組スタン・ローレル、オリバー・ハーディによる快喜歌劇、新しいおこのみが「歌劇デア・ボロ」をもぢつて愉快な可笑し味を釀出する

映畫ニュース

▲新型國際映畫「日本の娘」P・C・Lで撮影 ビルマのA・1映畫會社の監督モン・ニー・プー氏は弟頭弟のモン・ティン・プエ氏と友人ゴー・キン・モー氏と來つゝあつたが、此の程この朝觀光日本の各地を撮影し美しい日本に魅せられストーリーのある親善映畫を撮影することゝなりP・C・L・と提携しモン・ニー・プー氏自身が主演で、P・C・L・の高尾光子が助演去る十日本讀みを行つたがビルマの言葉も入れ「日本の娘」(ドウター・オブ・ジャパン)トーキー全八卷として近日中に撮影に着手することゝなつた、尚この映畫が完成次第弟のモン・ティン・プエ氏がビルマに持ち歸り全國に配給をする筈である

雜音

三常設館の洋畫上映に協定が出來たそうである 即ち長春座はフォックス、コロムビア、R・K・O、ワーナー、帝都キネマがメトロ、パラマウント、千鳥、新京キネマが東和商事、ユニバーサル、ユナイト大體こんな系統に分れるのださうである▲寫眞の奪ひ合ひから折角豫定された寫眞が上映出來なくなつたりする惡弊が、これで一掃されやうし或る館で一生懸命宣傳した寫眞が他處の館で上映されたりするやうな不都合も起らなくなるだらう▲何れ興行的に一利一害ある協定ではあるが三館ともに寫眞の選擇に關心して欲しいことで、夫々系統の特色を生かすやうなプロの編成が、更にこの方面の活況を添へることであらうと期待するこれで興行的な活氣が云々されないやうに充分關心して欲しいことである

今日の銀幕街

△長春座—二十九日まで、栗島すみ子の「果樹園の女」結城一朗の「血刄の舞」桑野通子の「船頭可愛いや」

△新京キネマ—二十七日より四日間、德川夢聲、神田千鶴子の「三色旗ビルディング」島耕二、瀧花久子の「十二番の聖歌」澤村國太郎の「天明からくり草紙」

△帝都キネマ—二十七日より五日間、スターン・ローレイ、オリバー・ハーディの「快賊デア・ボロ」寛壽郎の「荒木又右衛門」鈴木澄子の「怪談津乃國屋」

居住消息

▲石原増雄氏、長崎縣から祝町五ノ四へ
▲松島海氏、京城から蓬萊町一ノ四ノ二へ
▲一瀬武藏氏奉天から蓬萊町一ノ五へ
▲古笑醫植氏間島龍井村から祝町四ノ一四へ

轉居

▲市橋勝次郎氏、蓬萊町から白菊町二丁目陸軍官舍六十號へ
▲龜山勇氏芙蓉町から同上へ
▲大西養平氏曙町から義和路代用官舍二一四號へ
▲松本浩輔氏曙町から梅枝町一條アパートへ

吉凶禍福

▲龜山勇氏(白菊町二丁目)長女やすよさん二十四日出生
▲下石壽夫氏(富士町六ノ一)長男稔さん十七日出生
▲田代キヨ子さん(祝町五ノ一〇)廿六日午前三時死亡

九月廿八日 土曜 舊九月一日 丁未 先負 開 女宿

●一白の人 儲け話しを持込まるゝも其れに乘れば損害 甲と庚と癸が吉
●二黒の人 外に心を移さんより本業を守るが安全なり 庚と辛と丑が吉
●三碧の人 萬事急功を望みて失敗す短慮は警戒すべし 甲と乙と癸が吉
●四綠の人 不滿を起さず勉むべき日倦怠は不利を招く 甲と乙と辰が吉
●五黄の人 身心の安定を保ち妄りに動かざれば過なし 丙と午と丑が吉
●六白の人 福分一家に附き纏ふ日勵めば莫大の功あり 未と辛と丑が吉
●七赤の人 一家の安泰なるに滿足すべき日訴訟は注意 未と庚と癸が吉
●八白の人 家業繁榮する日大望は懷く可らず病難注意 丙と辛と丑が吉
●九紫の人 一事に熱中して他を顧みず欠陷を生ずべし 丙と丁と丑が吉

獨國が滿洲國へ經濟視察團派遣
承認の前提として重視さる

【ベルリン廿五日發國通】ドイツ政府は新興滿洲國の經濟狀況を視察する爲調査團を派遣するに決定し調査團は十月十二日ハンブルグ出帆、視察の途に就くこととなつた、調査團長は元ニューヨーク駐劄總領事ベー・キープ氏で他に外務省參事官、前東京駐劄ドイツ大使館商務書記官カールリール博士及びドイツ國立銀行監事グスターフ・ローゼンブルフ氏等の有力者が加はつてゐる、一行は滿洲國を視察して後支那、シャム等を視察して歸國する豫定であるが更に之等各國駐劄大公使館、領事館ドイツ商工會議所及び主要商業團体と密接な聯絡を講じ極東市場の開拓につき具體的研究を遂げる筈であるが、一行の使命は表面純然たる經濟調査に限定されてゐるが滿洲、ドイツ兩國間に於ける交換貿易制の確立並びに通運問題の研究等を重要課題としてゐる關係上調査團の報告が勢ひ滿洲國承認への基礎を提供するものと期待されてゐる

カナダの對日貿易激減

【東京國通】加藤公使より外務省への報告によればカナダ自治領統計局での發表は八月中の對日貿易は

輸入　三一一、五三九弗
輸出　八六〇、六八九弗

で六對一の片貿易關係輸出入の減少により多少均衡回復してゐるが前年同期より輸入は三割七、輸出は四割六八減である、此の激減は七月二十日實施の通商擁護法八月五日實施の三分の一附加税の結果である

中南米商業使節　横濱出帆

【東京國通】中南米商業使節は愈々廿六日横濱出帆觀察旅行の途に上つたが之に先立ち廿五日に貿易協會では官民協議會を開き同使節の使命權限を決定した、即ち商業使節は關係商品輸出組合代表で中南米の買付け商品の調査をなし通商取決めの準備工作をなす筈である

阜新炭礦採掘明年度より大擴張
壺盧島大築港計畫を樹立

【大連國通】撫順に匹敵する埋藏量ある事が確實にされた阜新炭礦は明年度鐵道の開通を俟つて大々的に採掘を開始地賣海外輸出に發展すべく準備を進めつゝあるが、滿炭では阜新炭の炭質調査、貯藏試驗を滿鐵に依囑して行ふ事となり既に過日石炭二車、沙河口に廻送し貯藏試驗に取掛つた、尚阜新炭礦は現在年二、三萬噸の少量を附近地賣用として採掘してゐるに過ぎないが明年度以降は大擴張、大增産を斷行すべく海外輸出の海港を壺盧島に求め、第一期四ヶ年計畫として大築港計畫を樹立し目下滿鐵經濟調査會に於て技術的經濟的兩方面から研究を進めてゐる、即ち阜新炭礦は壺盧島より約百六十粁、營口より約二百六十粁、奉天より二百六十粁の地點にあり採算上最短距離にある壺盧島を輸出港に當てんとする方針である

本年下期起債市場
一流物は活況

【東京國通】下期起債市場は活況を呈して居るが一流物以外は商談纏らず後待ち傾向を示してゐる模樣で株式市場へ資金偏在して居る、之は美濃部問題の爲の政局不安にも起因して居るが根本的には起債市場の無統制からであるとみられてゐる

太平洋貿易協會に日本實業家招待

【大阪國通】北米合衆國に於ける太平洋貿易協議會は十一月廿四日より一週間ハワイのホノルルに開催される筈であるが、アメリカ側では此の機會に太平洋沿岸諸國の實業家の出席を得て貿易問題に關し懇談方を希望し此の旨廿六日ロスアンゼルス商業會議所より大阪商工會議所に通知し來つた、依つて同所では今回の我が國實業家招待は日、米綿業協定並びに日、米間の各種經濟問題の懸案を解決するに絶好の機會なりとし大いに乘り氣となり本邦實業家の之が參加方を極力勸誘することとなつた

新京滿人商號考 (十八)
大馬路の卷

大馬路のうち、六馬路との辻から東側の店を南に向つて順に拾はう

×

△潤升昌
これは啓東煙草の代理店、煙草が潤ひ過ぎても困るが惡い名ではない

×

△華洋補牙院
「補牙」は「入れ齒」と譯すべきであらう、片假名で「シガイイン」と書いてある「華洋」は大きいが「シガ」には微苦笑

×

△源興發
これは茶莊

×

△丹鳳理髮社
北平と肩書がある「丹鳳」とはめでたいやうな感じを持つてゐる

×

△東興盛茶食店
盧讀んで字の如し

×

△儒林大藥房
いかにも漢藥屋らしい名ではある

×

△中和號
これも茶食店、凡

×

△九江泉
これは相當大掛りな屋號である、むろん風呂屋で
　清水池塘
　幽雅潔靜
と對聯代りに横に大きく書いてある

電業公司總會における社長の挨拶

一、本日茲に定款の定めに依り昭和十年一月一日より同六月三十日迄の營業を締切りまして第二回の決算を行ひ其の成績を御報告申上ぐると共に各計算書並利益金處分案に就き株主各位の御承認を得度く本總會開催を御通知申上げましたところ御多用中にも不拘御出席を得まして重役一同深く感謝する次第であります

一、本期は營業第二期と云ふことに名目上は成つて居りますが社業運營上から見て實質上の第一期とも申し得るのでありまして我々經營當局者としては本期業績の昂揚に最細心の注意を拂ひ内部機構の整備を圖ると共に外、電氣事業統制の使命遂行に努力を續けて參つた次第で御座居ます―之より本期末の業態を前期末に比較しまして簡單に申上げます

第一設備の概要に關して申上げますと
發電設備に於て一六五、六〇〇KWとなり前期末に比較して
甘井子の五四、〇〇〇KW增設と天の川並哈爾濱等の八〇〇〇KVの撤廢其の他で約四六、〇〇〇AKの增加を來し
變電設備に於て二八八、九一五VAとなり前期末に比較して
周水子、春日町、撫順、渾河其の他の新設で約一二〇、〇〇〇の增加を來し
送電線設備に於て一、〇六子粁の亘長を示し前期末に比較して
渾奉送電線、奉天四馬路送電線新設其の他の新設で約二〇粁の增加を來し
配電線設備に於て二、九四九粁の亘長を示し前期末に比較し
各地の需要增加に伴ひ約五五粁の增加を來して居ります

第二營業狀況に就て申しますと
電燈數に於て一、六二六、三九六燈となり前期末に比較し
約八八、〇〇〇燈の增加を來し
電力契約容量に於て一五五八八二KWとなり前期末に比較し
約六〇、〇〇〇KWの增加を來し
電熱契約容量に於て六、六八三KWとなり前期末に比較し
約一〇〇KWの增加を來して居ります

第三更に關係會社に對する投資に就て申しますと
株式投資額二、九〇七、二六一圓、四〇錢
貸金投資額一、二一七、〇四〇圓、二九錢となり前期末に比較しまして
株式投資に於て約六六〇、〇〇〇圓
貸金投資に於て約九〇、八〇〇圓の增加を來して居ります

右の如く業態は漸次伸張の一途を辿つて居りますし將來各種産業の開發、文化の向上に追隨致しまして層一層の發展を豫想されますことは誠に同慶に堪へないところであります

一、却說本決算期の成績と致しましては金三、八二七、〇〇〇圓の利益金を上げて居りまして營業開始後第一期の業績としましては相當の好調を示し得ましたことは誠に仕合と存ずるところであります。之が計數の詳細に亘つては後刻擔當重役より說明致すこととしますから私は以下少しく本年度に於ける事業施設中の主要工事に就て其の概況を申上げる事にし度いと思ひます。本年度の主要工事と致しましては

▲甘井子發電所の新設……(二五、〇〇〇KW二臺、四、〇〇〇KW一臺)▲新京發電所の增設……(五、〇〇〇KW一臺)▲哈爾濱發電所の增設……(一四、〇〇〇KW一臺)▲齊々哈爾發電所の增設……(二、八〇〇KW一臺)▲牡丹江發電所の新設……(一、〇〇〇KW一臺)▲鶴崗發電所の新設……(一、五〇〇KW一臺)▲周水子一次變電所の新設並增設……(一五、〇〇〇KVA一臺五、〇〇〇KVA一臺)▲春日町變電所の增設……(一二、〇〇〇KVA)▲撫順變電所の新設(六〇、〇〇〇KVA)▲渾河變電所の新設……(三〇、〇〇〇KVA)▲立山變電所の新設……(一五、〇〇〇KVA)▲奉天四馬路變電所の新設……(一五、〇〇〇KVA)▲哈爾濱馬家溝並道裡變電所……(各一二、〇〇〇KVA)▲撫鞍送電線第二期工事……(一五四、〇〇〇V、亘長一二九粁)▲渾奉送電線の改設……(四四、〇〇〇V、亘長七六、一粁)▲奉天四馬路送電線の增設……四四、〇〇〇V、亘長七、二粁)

等でありまして夫々完成又は目下工事施行中であります

一、次に電氣事業統制の推移を概略申上げますと前期末とサノミ大差はありませんが新規買收、新規送電又は形態整備の結果凡そ次の通りとなつて居ります。

一、本店直轄箇所　五
一、支店　九
一、出張所　八
一、關係會社　二四

尚此の外企業計畫中に屬するものが各地に多數ある狀況であります

一、以上を以て本期の營業狀勢の一班に對する說明を畢つたのでありますが此の機會に於て會社將來計畫に關聯して以下少しく言及して見度いと思ひます。

過般來社內に發送電網十年計畫の調査を目的とする機關を特設しまして之が調査立案に當らしめたのでありますが今日迄に得たる資料を以てしては概ね妥當なる結論を得たのでありまして、此の根本計畫を有することに依り會社は今後の事業を推進する一の確固たる指標を把握することが出來、溫般の籌備を堅實に目論むことが可能となるのであります。今一々之を述べることは省略しますが此の基本計畫に沿うて具體的に考慮した十一年度の事業計畫中主要設備とも云ふべき項目を指摘して各位の御參考に資し度いと思ふのであります。

發電所關係に就いて申しますと
▲新京に於て一四、〇〇〇KW一臺增設▲齊々哈爾に於て三、八〇〇KW一臺增設▲安東に於て三、〇〇〇KW一臺六、〇〇〇KW一臺增設
を計畫し
變電關係に就いて申しますと
▲撫順に於て四五、〇〇〇KVA增設▲渾河に於て四五、〇〇〇KVA增設▲鞍山に於て六〇、〇〇〇KVA(進相機付)、一五、〇〇〇KVA並一〇、〇〇〇KVA增設▲奉天に於て一五、〇〇〇KVA增設▲新京に於て三〇、〇〇〇KVA新設▲哈爾濱に於て三〇、〇〇〇KVA新設
を計畫し
送電線關係に就いて申しますと
▲鞍山營口間送電線(一五四、〇〇〇KVA九〇粁)新設▲渾河遼陽間送電線(四四、〇〇〇KV、五六粁)新設
を計畫することとなるのであります。

孰れも各方面の需要增進に順應する必然的な施設具現の大綱豫定を成すものであります

一、終りに資金計畫に就て申述べることにしますが尤も本件に付ては後刻擔當重役より詳細なる說明があることゝ思ひますから私は曩に臨時總會に於きまして御可決願ひました經緯がありますので茲に金一千萬圓の社債に關し一言丈け申述べます、本社債は其の後直ちに募集手續に移りましたところ幸に各方面の理解ある支援に依り凡て好調に事務を運ばせることが出來まして豫定通り下期の八月一日に完全に拂込の完了を見るに至りましたのでありますから御諒承願つて置きます。前述しました各般の事業施設を增大擴張するに伴ひ必然的に其の必要を生じて來ますところの今後の資金問題に關しては目下社內でも夫々畫策中でありまして他日適當の機會に各位に御相談申上げることに致し度いと考へて居ります。

一、本期の營業狀況並會社今後の動向は大體右の通りで御座いますが我社と致しましては産業の開發、人口の增加に伴ひ之に適應したる經營方針を確立しまして與へられたる電業統制の使命を完うして兩國政府の附託に背かざると共に株主各位の御期待に副ひ度いと專念して居る次第であります。

長話

財界秘話といふものにも相當の面白味があると言ふのは、登場人物がみな血の通つてゐる生きた人間であるからしい▲「セルパン」なる雜誌の十月號を讀むと、例の東滿パルプの創立や、退職手當法制化の問題を續つての藤原銀二郎君の心理描寫なるものが出て居る▲退手問題といふのは、藤原君が女給のチップの話まで引用して金融資本の權化のやうな藤原君から言つて頭の上らぬ筈の相手たる池田成君に物凄く立ち向つたといふ話である、池田君はあれで相當進歩的な社會政策的な考へを持つてゐるのだから勿論法律で退職手當を定めねば積立の實効は覺束ないと言ふのである、藤銀先生は全産聯を背景にその要無しと頑張つたものだ、聞けば藤原君の今日あるは、池田君の庇護に依るもの多大らしい、それだのにといふのが秘話の味噌なのだが▲「秋となり咽喉元の暑さ忘れけり」

商況欄
(九月廿七日前場)

海外經濟電報

品目	相場
倫敦銀塊	二九片四分一
同先限	二九片四分一
紐育銀塊	六五仙八分三
孟買銀塊	六七留比八分一
米英爲替	四弗九十仙四分一
米日爲替	二八弗八一仙
米支爲替	三七弗七五仙
スチール	四五弗八分五
アナゴンダ	二〇弗八分七
英日爲替	一志二片三二分三
英支爲替	一六弗二分一
英佛爲替	‖
印日爲替	七七留比八分七

▲米棉

限月	相場
現物	一〇仙八五
十月限	一〇仙四〇
十二月限	一〇仙五〇
一月限	一〇仙五四
三月限	一〇仙六〇
五月限	一〇仙六九
七月限	一〇仙七四

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二〇五留比
オームラ	一八六留比
ベンゴール	一四〇留比

▲市俄古小麥

限月	相場
十月限	九八仙八分三
十二月限	九八弗四分一
一月限	九八弗八分一

▲カルカッタ麻袋

品目	相場
胃蔴	二五留比八分一
饅蔴	二二留比八分三

金銀市況

●上海標金　昨引 [illegible]　本寄 [illegible]　歩 [illegible]
●大連金鈔票　現物 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向　第一回賣買　第二回賣買　第三回賣買　第四回賣買 [illegible]
▲倫敦向　第一回賣買　第二回賣買　第三回賣買 [illegible]
▲紐育向　第一回賣買　第二回賣買　第三回賣買 [illegible]
▲大連爲替
▲上海向 [illegible]
▲烟台向 [illegible]
▲阪神日米爲替　第一回賣買　二八弗　四分三八分七
▲阪神日英爲替　第一回賣買　一志二片　一六分一八分一

株式相場

▲大阪株式(短期)　大新、鐘新、東新、日産 [illegible]
▲大連株式(短期)　五品、豆新、鈔新、鐵新、東新、滿新、二新、日産、鐘新 [illegible]
▲奉天株式(短期)　滿取、東新 [illegible]

商品市況

▲大阪棉糸　寄付 [illegible]
　九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限、二月限、三月限 [illegible]
▲大阪棉花　當限、先限 [illegible]
▲大阪人絹　當限、先限 [illegible]
▲神戸豆粕　九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限、二月限 [illegible]

商品銘柄：大新、日産、五品、豆新、鐘新、滿鐵、二新、富甲、同乙、東拓、滿興、東亞、優先、滿毛、日魯 [illegible]

●大連國幣鈔票銀大洋、●奉天國幣金票、●奉天國幣鈔票、●哈爾濱國幣金票、●安東國幣金票　現物・九月廿八日限・十月十三日限・寄・引・出來高 [illegible]

特産市況

●大連大豆　袋込・九月限・十月限・十一月限・十二月限・一月限 [illegible]
●同 豆粕　現物・十月限・十一月限・十二月限・一月限 [illegible]
●同 豆油　現物・九月限・十月限・十一月限・十二月限・一月限 [illegible]
●同 高粱　現物・九月限・十月限・十一月限・十二月限・一月限 [illegible]
●哈爾濱大豆　十月限・十一月限・十二月限・出來高 [illegible]
●同 小麥　十月限・十一月限・十二月限・出來高 [illegible]

新京取引所市況 (九月二十六日前場)

●大豆　現物(一石値段)・定期(混合百斤値段)　寄・引・出來高 [illegible]
●高粱 [illegible]
●鈔票對金票　二十八日限・十三日限 [illegible]
●國幣對鈔票　寄・引・出來高 [illegible]
●錢鈔　寄・引・出來高 [illegible]
國幣對金票、金票對鈔票、國幣對鈔票、現大洋對鈔票 [illegible]

大正九年十月二十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一ケ月壹圓 一部五錢 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三一二五 營業部專用三一〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

地方制度改正後の 第二回 總務廳長會議

新縣制度重要協議行はれん

十月三、四日と決定

地方制度改正後第二回目の總務廳長會議は來る十月三、四兩日新京に於て開催と決定したが、本會議に於ては

一、新縣制度確立に關する件
二、日本の治外法權撤廢及び附屬地行政權移讓方針に伴ふ諸準備に關する件

等が中心議題として供され、中央、地方の重要打合せが行はれるものと觀測されてゐる

大削減の鐵道部豫算

經理、鐵道の衝突

重役會議の解決に俟たん

【大連國通】滿鐵々道部の明年度事業費豫算に關する經理部との折衝會議は二十六日行はれたが、鐵道部の要求豫算三千五百萬圓に對し、經理部は大削減の方針を採り一千五百萬圓程度に査定せんとし、殊に車輛新造費約一千二百萬圓を四百萬圓に削り線路改良費にも大削減を加へた爲兩部の衝突となつて同日の會議では意見纒まらず重役會議の政治的解決に俟つことゝなつたこれが爲鐵道部が明年度實行計畫の「あじあ」の夜間運轉二十メートル軌條の取換へ等は全部繰延べとなる模樣である

民政黨斷然リード

府縣選擧當選者數

【東京國通】二十七日午前一時現在に於ける當選者總數は九百七十七名にしてその內譯は

黨派	當選者數
政友會	四一〇
民政黨	四四五
國民同盟	一三
無產黨	二三
其他	一七
中立	六九
合計	九七七

で民政黨か依然第一位を獲得してゐる、今次政戰の頭初に於ては野黨政友會の勝利を豫想せられてゐたのであるが二十六日開票の結果民政黨が俄然與黨の强味を發揮してかく多數をかち得て居るものの政友會傳來の地盤たる郡部の開票が尙ほ殘されてゐるので二十七日の開票で政友會が頽勢をどれ程挽回するかは最も興味ある點である、而して此兩大勢の間に伍して國民同盟、中立其他小派がどれだけ進出をなし得るかは今次政戰中最大の注意が拂はれたところであるが、之等諸派は依然として出足が鈍く今迄のところ兩者の間に立つてキャスチングボートを握る程の將來性を暗示してゐない

閣僚の意見を容れ

政府再聲明愼重

——更に案文推敲に決定——

【東京國通】政府は機關說の處置に關しその方針を一般に闡明する事となり白根書記官長の手許に於て原案を作成し廿七日の閣議に報告したが各閣僚より

政府が前回聲明を發して又復此聲明をする必要に迫られるに至つたものであるから今回は特に愼重に檢討して國民を納得せしめ得るものとしなければならない

との意見出で更に軍部閣僚よりは

此聲明は國體明徵に關する政府の根本方針を爲すものであるから明確に政府の意思を表明する必要がある

とて將來の方針に對しても明確に政府の所信指示を迫り他の閣僚よりも意見が出たので此閣議の席上述べられた各閣僚の意見を折込み更に案文を練つた上次回又はその次の閣議に諮り發表する事となつた

南軍司令官

奉天防空演習視察

【奉天國通】奉天に於る防空演習視察の爲南軍司令官は廿七日午後一時十三分奉天着のハトで來奉、三毛統監、篠奉天省長以下日滿官民多數の歡迎を受けヤマトホテルに入り少憩後奉天防衛司令部に至り三毛演習統監、谷田聯合防護團長より演習狀況の報告を受け一萬人に達する在奉各種防護團員の活躍に感激しつつ防衛司令部內を視察したが滿洲空前の大演習として軍司令官も「ホウ、ホウ」と感心と滿足の面持ちであつた、二時四十分司令部發三毛統監、山村參謀、河崎中佐等を從へ奉天城內を一巡し吉順號屋上にあがり第三區防護團の演習を視察石田少佐より演習狀況の說明を受け今回の防空演習は日滿軍官民が完全に協力一致し殊に城內滿洲國側としては全く空前のことであるにも拘らず極めて好成績を擧げつつあるを知り王第三區防護團長以下團員の勞苦に感激しつつ三時三十分吉順號を出てヤマトホテルに歸還した

北支の重要地に

滿鐵調査機關設置

【大連國通】滿鐵は察哈爾方面の產業、經濟狀態調査のため多倫に北平事務所の駐在員辦事處を設置すべく決定し廿六日附社報を以て渡邊乙次氏を駐在員として常駐せしめることを發表したが更に近く綏遠省歸化城にも駐在員を設置する段取りである、從來滿鐵は北支に於ける調査機關として北平事務所を有するのみであつたが北支經濟工作總元締めとして近く天津に開設される事務所と相俟つて各地に調査機關を擴充し邊境の經濟產業事情を明かにせんとするものである

反聯盟熱に湧立つ

全伊太利の輿論

武力解決は必至の狀勢か

【ローマ廿六日發國通】聯盟理事會が伊エ紛爭に規約第十五條適用勸告案の起草を開始したとの報道に接し全伊太利民は大衝擊を受けムッソリーニ首相の意を體してゐる諸新聞は聯盟に對し猛攻擊を開始したのをはじめとして反聯盟熱が全伊に漲り官僚の有力者さへ

政府は最早聯盟よりは何等も期待し得ぬ、吾々は我等のみの道を誤らぬやうムッソリーニ首相の下に邁進するのみ

と今迄にない强硬言辭を弄してゐるので伊太利が聯盟と手を切り武力解決に突進するのは確實であらう、ムッソリーニ首相は事態自らを急迫せしむる意圖を有せず最後手段はあらゆる外交手段を盡した後に行はんとしてゐる模樣である

經濟封鎖案發動は

時日の問題

【ジュネーヴ廿六日發國通】聯盟理事會は廿六日の會議に於て遂に規約第十五條第四項に基く勸告案の作成に着手するに決定したが第十五條第四項の援用は當然第十六條制裁規定の發動を豫想するものであり、イタリー政府が所謂植民地肅正工作に乘出すのは既定の事實なる以上聯盟傳家の寶刀「經濟封鎖案」がイタリー政府の頭上に加へられるのは殆んど時日の問題となつた尤も英佛伊三國政府間には目下極秘裡に直接交涉が繼續されてゐる形勢あり、最後の瞬間に於てムッソリーニ首相の腰が碎けるかも知れぬが、既に廿萬の大軍を動員したイタリー政府が制裁案發動の威嚇に轉向軟化することは國論激昂の手前到底出來ぬ事と觀られる

勸告案理事會上程の場合

伊は三ケ月間戰鬪行爲不能

【ジュネーヴ廿六日發國通】聯盟理事會が紛爭解決に聯盟規約第十五條の規定を基礎とし勸告案の作成をなすに方針を決定したのでイタリーは第十五條に基き紛爭事件が理事會に上程される場合に於ては加盟國たる紛爭當事國として三ケ月間戰爭行爲に出られない譯で若し之に違反せば第十五條により國際的に公權を剝奪される譯である、現在の情勢より理事會の十三人委員會が最後解決の勸告を含む報告書を完成するまでには相當曲折を免れぬので理事會では十月上旬以前には右報告を採擇し得ぬので三ケ月の猶豫期限も十月上旬より明年一月まで續く譯だ、尙エチオピアが勸告案を受諾すればイタリーとしては第十五條六項の規定に縛られ對エチオピア戰端開始不可能になる、又一部には三ケ月の猶豫期間を紛爭事件が理事會へ上程された九月四日を始りとして十二月五日には滿了するとの說あるも聯盟筋では三ケ月の期限は理事會の勸告案採擇の日が始りであるとしてゐる

中立オブザーヴァー團を派遣

『ジュネーヴ廿六日發國通』十三人委員會は廿七日第一回會議を開催勸告案の起草に着手することゝなつたが起草完了までに伊エ兩國間の戰端開始を阻止する爲空中より兩國軍の行動を監視し寫眞撮影に當る中立オブザーヴァー團を現地に派遣する提案を考慮の筈で同案は恐らく實現の筈

岐阜の日本博に 滿洲館設置

明春岐阜市で開催される躍進日本博覽會に滿洲國政府は滿洲館を設置することになり實業工商司長谷川囑託を派しグラウンドから櫻堤に至る百二十坪を選定、特有の風俗物產その他を出品し友好關係を遺憾なく釀し出すことになつた

自分が若し當選したら (六)

戰線に起つ人々

……地委候補を訪ねて……

我を犧牲にして 賣名が嫌ひ

◇…盛倉商店主 荒木伸之氏(新)

三笠町々內會、カフエー組合長崎縣人會の推薦になる農具商盛倉商店主荒木伸之氏ー氏は當年四十四歲の働き盛り、長崎中學を卒へて明治四十三年渡滿合資會社盛倉洋行大連本店に勤務、大正二年新京に來り盛倉洋行新京支店を繼承し傍らカフエー・ミツワの經營に當る、在京二十二年その間長崎縣人會長として同縣人後輩のために盡すところ多く現在三笠區々長、新京福祉委員、衛生委員、カフエー組合副組合長等の公職にあり市政のために盡瘁するところが多い、氏の抱負を聽けば

◇

綱領だスローガンだと盛り澤山のお題目を並べても結局は理想に過ぎない、立派な自治體になつた曉ならば兎に角現在の狀態は『私』を棄てゝ諮問に與るといふ以上には出られないではないか、要するに私は市民の福利增進のために私見を棄てゝ公僕として全力を盡す覺悟である、治外法權の撤廢附屬地行政權の移讓は時日の問題で一部は既に眼前に迫つてゐるがこれら直接市民に重大なる利害關係を有する問題に遭遇しては能く機に臨み時に當つて市民として凡べての「我」を犧牲にして盡す決心である

◇

氏はまた賣名が嫌ひだといふ酣なる逐鹿戰の眞最中戰塵を離れて數日間朝鮮方面に旅行をつゞけ富士の選擧事務所はがら空である、氏は既に戰はずして勝つたのか?町內會百三十餘票、カフエー組合、長崎縣人會の百余票は搖ぎもしない氏の地盤だといはれてゐる

社長の代りに起ち 日滿の共榮を

◇……電業公司 古城良知氏(新)

教育團代表の江部易開氏とゝもに特殊部落を負つて立つ電業公司新京支店營業課長古城良知氏ーこゝは戰塵をよそに全くの平穩無風選擧の話なんか何處にあるかといふ樣子、社員の投票二百票は搖ぎもしない金城湯池、平穩無風も宜なるかなである、電業公司は何故會社の代表者を地方委員會に送らねばならないだらうか?

◇

之から會社としていろ〳〵相談する機會が多からうといふので會社として推されたものですから……本來は社長が立つべきですが社長は滿人であり現在附屬地に居ないものですから不肖私が推されたやうな次第です他の候補者とは立場が全然違ひますから別に抱負とか意見とかいつたものはありません、本社の意向としても對外的、積極的に運動をすることは遠慮せよ、社員の代表として立つのだから唯市民の代表といふより社員の支持を待つてゐるのみです、新京における營業の根幹は附屬地內にあり又本社營業の三分の二は關東州內にあるのですから將來附屬地が返還され行政權が移讓されゝば課稅等について重大な影響をうける事になるでせう、それらの點についても充分本社の意向を傳へるとゝもに幾らかなりとも明るい市政のために貢獻することが出來れば幸甚と思つてゐます

◇

更に氏は立候補の理由として唯「浮薄な萬言の綱領を揭げることを廢し純誠と熱情を以て日滿共榮、市民共同福祉の實を擧げ心血を捧げて理想鄕建設の礎子たらんとするのみです」と簡單に而も熱情を籠めて語つた

略歷 氏は大分縣の出身、當年四十六才、大正二年旅順工科學堂電氣工學科卒業と同時に京城電氣株式會社に入社六年勤續、大正十一年東亞興業に入り同社の營業顧問として湖四、湖北方面に活躍すること七年、轉じて山口縣營電氣局に入り技師として德山出張所長にあること七年、昭和八年二月渡滿關東軍特務部囑託、南滿洲電氣株式會社囑託として滿洲電氣事業の合同工作に盡瘁、昨年十二月滿洲電氣事業の統制成ると共に電業公司參事秘書役に就任九月一日の職制改革によつて同社新京支店營業課長の要職に就く

熱烈な應援を得て 案外の樂戰か

◇……金道根氏(新)

在京一千餘の朝鮮人の代表として民族融和の先陣を承つて立候補した朝鮮人居留民會長金道根氏は地元居留民會の有權者四十二名に過ぎず剩へこの四十二票の居留民會も完全な結束は困難とみられて居り苦戰の模樣であつたが豈はからんや氏の參謀格には大使館領事館方面の朝鮮課關係者數名の絕大なる應援がある模樣で日本人側の地盤に相當喰ひ入つて行くものとみられてゐる

氏は京城の出身で當年四十八才、十七才の時南洋シンガポール方面に雄飛し二十二才の時歸鮮、大正三年渡滿、ハルビン、開原等にて精米業を營み事變直前當時の長春に來り引つゞき精米業を營み今日に至る、現在朝鮮人居留民會長の公職にあり

孫財政部大臣の

日本、北鮮視察

日程及び一行の顏ぶれ決る

日滿經濟共同委員會の設置によつて日滿兩國の經濟的緊密關係は愈よ鞏固な基礎の上に置かれる事となつたが、更に孫財政部大臣は兩國の經濟的提携の實を擧げるため來る廿九日新京を出發、約一ケ月の豫定で日本及北鮮を視察することゝなつた日程及隨員は次の通りである

九月廿九日午前七時新京出發、同三十日釜山下關、十月一日東京、同九日日光、同十四日箱根、小田原、同十七日名古屋、宇治山田、同十九日奈良、桃山、京都、同二十二日大阪、同二十四日神戶、宮島、同二十六日別府、同二十八日下關、同二十九日釜山、京城、三十一日輸城、淸津、羅津、雄基、十一月一日南陽、圖們二日午後九時四十五分新京着

▲隨員

財政部總務司長星野直樹、財政部理事官徐尙志、財政部事務官今里進三、財政部事務官崔正儒、濱江稅務監督署理稅官岡田四郞、財政部屬官山田新一、財政部屬官澤田幸次郎、財政部屬官曾廣富

謝大使

昨朝基隆入港

【臺北國通】歸省の途にある駐日滿洲國大使謝介石氏を載せた內臺連絡船大和丸は颱風のため一日遲れて廿七日午前八時卅分基隆に入港した、謝大使一行は元氣で多數官民の出迎へを受けて上陸、午前十時四十五分臺北着鐵道ホテルに少憩後臺灣神社に參拜し中川總督、寺內軍司令官を訪問挨拶を述べるところあつた

尙同大使は廿七日鄕里新竹を訪問約一月半滯在の豫定である

朝鮮關係者 岩佐司令官送別

岩佐憲兵司令官榮轉を祝し朝鮮關係有志は二十九日午後六時半ヤマトホテルに同司令官の送別會を開催する、出席希望者は大使館朝鮮課電話五二一一番又は四三一一の一一二一一四若くは朝鮮人民會電話二二三一番へ申込まれたいと

滿洲醫學會 新京支部例會

滿洲醫學會新京支部第百十二回例會は來る十月一日午後二時から新京衛戍病院講堂で開會、終了後懇親宴を催すから會員はなるべく多數の參會を希望すると

大村副總裁 廿七日午後出發

關東軍交通監督部長から滿鐵副總裁に榮轉の大村卓一氏は二十七日午後二時發列車で赴任したが驛頭は日滿各界の見送り人で埋められ身動きもならぬやうな賑かさであつた

リ氏協力に ヤング氏上海へ

【香港廿七日發國通】香港植民地政廳發表によれば經濟事情調査の爲目下香港に滯在中の英國大藏省派遣員エヌイーヤング氏はリースロス氏に協力する爲來週中に上海に赴く事となつた

炭礦滿鮮視察團 ハルビンへ

炭礦滿鮮視察團一行中五名は廿七日午前九時五分新京發ハルビンに向つたが廿八日午後三時四十分新京に引返し廿九日午前九時南下の豫定

日本證券業者一行 滿洲視察へ

滿洲國の招聘により來滿することゝなつた日本證券業者一行は來る十月九日東京出發約一ケ月に亘つて滿洲各地を視察することゝなつた

產金買上價格

九月二十七日財政部は產金買上法に基く產金買上價格を一瓦に付國幣三圓五角と決定した

人事往來

▲草間茂氏(大連觀測所長)二十七日午後來京

航空

▲岩崎恒義氏二十七日午前發ハルビンへ
▲增田庸氏(福岡會社員)同
▲川島三郎氏(同)同
▲吉岡振司氏(新京淸水組)同午前ハルビンより
▲松風憲二氏(京都)同
▲黑岩正夫氏(大連淸水組)同
▲高橋康順氏(實業部總務司長)二十七日午前發大連へ
▲大村辰雄氏(滿洲國官吏)同午後ハルビンへ
▲松本岩太郎氏(德島高工校長)同
▲妹尾省造氏(朝鮮會社員)同
▲鼓田正武氏(滿洲國官吏)同

社說

再開せらるゝ滿洲里會議の前途

滿洲里會議は滿洲代表によつて提案された、代表機關交換問題に關し兩國代表部間に意見の一致を見ず、外蒙代表は同問題について中央政府に請訓のため歸國することゝなつたので去る八月下旬以來休會となつてゐたが愈よ本月末ごろ再開の運びとなつた、滿洲國側においては來るべき再開會議を極めて重視し去る二十一日關東軍司令部において板垣參謀副長を中心に關係各幕僚、大橋外交部次長、神吉政務司長を始め滿ソ國境紛爭處理委員會設置問題に關し現地機關と打合せのため來滿中の陸軍省軍事課田村少佐、外務省西歐亞局第一課長等日滿各機關の關係者が集合し再開會議に臨む滿洲國側の態度に就き愼重協議するところがあつた、會議の内容は嚴秘に附されてゐるが仄聞するところによれば列席者中の强硬論者は「外蒙に對するソ聯の赤化政策が今日の如く進展せる以上は外蒙を原則的に支那領と認めその軍隊は支那共產軍と同一と見做し今後の問題を處理すべし」と主張する者もあつた程で如何に會議の空氣が緊張したものであつたかが窺はれる、而して神吉代表は右會議の方針を携行して廿二日會議地滿洲里へ赴いたが再開會議においては右會議によつて與へられた方針に基き代表機關の交換問題、國境委員會の設置問題等の諸懸案を全面的に解決すべく積極的態度に出づるものとみられ會議の前途は極めて注目されてゐる

◇

滿洲國が再開會議を殊更重視するに至つた理由は最近外蒙に對するソ聯邦の赤化工作が極めて積極的となり軍事方面は勿論政治經濟文化の各方面にわたり完全にソ聯の影響下に置かれたといふ事態に對してである、更に會議代表が中央に請訓のため歸國中もソ聯側は盛んに策動し會議の順調なる進展を阻止するが如き暗躍を續けた事實があり、かくては會議の成果は百年河淸を待つに等しいとの見地によるものである、元來滿蒙會議は本年一月滿蒙國境ハルハ廟附近に於いて滿蒙軍が衝突した事件即ちハルハ事件を解決せんとの意圖の下に開催されたもので、ハルハ事件の發生原因が滿蒙兩國間の親善關係の缺如に基因するところから會議が兩國の親善關係を確立といふ根本的問題にまで進展したものであつて、現在の如く兩國間に何等の代表機關も交換せず親善關係を樹立するにあらざれば第二第三のハルハ事件が惹起することは必然であるとの建前から滿洲國側では兩國の友好關係の確立を希望してゐるのである

◇

外蒙政府において眞に東洋の和平を希求し同國の發展を望むなれば滿洲國と圓滿なる關係を保持しつゝ東洋民族の一員として新東洋建設に協力しなければならない、現在の如くソ聯の赤化のまゝ放置し赤化勢力の下に門外不出の排他的態度をもつてソ聯邦以外の諸外國に對してゐればやがて完全にソ聯の赤手に掌握され實質的にも獨立國としての將來は多大な不安を招來することは火をみるより明らかである、吾人は外蒙側が滿洲里會議の重要性を認識しソ聯の勢力下から放たれて眞に東洋民族の一員として滿洲國と提携し東洋平和建設に向つて協力することを彼等のために希んで止まない

期待せられる滿鐵の北支進出
石本理事が擔當に内定す
總裁の直屬機關に

【大連支社發】滿鐵の北支機關の强化に就ては過般の異動に際し北支經濟のエキスパートである審査役太田雅夫氏を天津事務所に据へその片鱗をみせたが引續いて大村新副總裁着任を俟つて首腦部會議の上滿鐵理事の業務擔當の決定を見る筈である、仄聞すると ころに依ると石本理事は支那關係を擔當することに内定してゐるものの如く天津事務所の職制確定を俟つて北支經濟提携の新工作に努めることになつた模樣である、因に支那關係は總裁直屬の天津事務所を中心機關として、これに總務部東亞課、經濟調査會第六部を含めて石本理事の擔時とするものと見られてゐる

内地移民をもつと增加せよ
川越次長の歸任談

【東京國通】川越對滿事務局次長は約一ヶ月に亘る滿洲及び北支の視察旅行を終へ廿六日午後歸京したが今回の旅行に就て左の如く語つた

私が最も痛感したことは對滿移民の遂行に一層の努力を拂はねばならぬといふことであつた、滿洲に對する移民事業は單に過剩人口を他に移すと云ふ問題だけでなく日滿民族の不可分關係を深めると云ふ意味からいつても内地移民の數がもつと增加しなければいけない日滿經濟共同委員會で最初の議案となるのは日滿關稅問題であると思ふが最後的決定迄には尚相當日時を要することと思ふ、爲替問題も現在日滿爲替がパーとなり此狀態を續ける事が有利且つ必要であるから兩國政府に於て適切なる協議が進められるものと考へる、孫財政部大臣も來月上旬には來朝する筈であるから自ら此問題も出て來るだらう、所謂現在の滿洲景氣は無論所謂建設景氣であるが鐵道敷設其他の完成するに伴れて產業の本格的活動が行はれ一般經濟界が繁榮する樣に極力誘導しなければならない

日本經濟視察團　十五名決定

【上海廿六日發國通】支那の金融經濟界巨頭を網羅する日本實業視察團參加者は過般來詮衡中のところ本日左の如く團長吳鼎昌、陳光甫、周作民、黃文植、榮宗敬、熊佐廷、劉鴻生、徐新六、唐壽民、錢永銘、郭順、胡均庵、黃江泉、南經庸、祝士毅以上十五名を決定、十月六日上海丸にて上海を出發することになつた

"大學の講義も嚴重に取締る
けふ閣議で決める

【東京國通】國体明徵に關する政府の具体的措置及び今後の方針は廿五日閣議の申合せにより書記官長が關係各省大臣と協議した上廿七日の閣議に諮り適當な形式で發表されるが、其内容は大体左の如きものと觀られてゐる

一、政府は國体明徵に關する凡ゆる努力を爲し今後も益法學十四種の發賣を禁止して來たが取締は今後更に徹底を期す

一、文部省は旣に全國直轄學校へ二回訓令し機關說の撲滅と國體明徵の徹底を期したが今後も各大學の憲法學講義の憲法學說を嚴重取締る

一、司法省は今後機關說の新出版物を出版により取締り機關說の根絕を期す

々此方針で機關說を排擊する爲徹底的處置を講ずる

一、内務省は四月以降機關說を採る憲法學說廿餘種、國

國民政府ソ聯大使と外蒙問題折衝
國境確定、外蒙承認か

【上海廿六日發國通】某方面の情報によると最近國民政府當局は駐支ソ聯大使ボゴモロフ氏と外蒙問題に關し重要折衝を進めてゐる模樣である、詳細不明であるが右折衝内容は外蒙の獨立承認に伴ふ境界決定、交通通商問題をも或程度包含するものでソ聯側では外蒙の正式獨立承認を目標にその前提たる諸事項に關する意見交換を繼續してゐるものゝ如く刻々進展しつゝある外蒙古の軍事政治的變化に刺戟され折衝は順調に進行中だと言はれてゐる

國民黨更生策にナチス黨則を採用
土耳古公使賀耀祖氏の提唱

【上海廿六日發國通】外字新聞の報ずる所によればトルコ駐劄中國公使賀耀祖氏は廿四日ジュネーヴに於て「中國國民黨更生の爲にはナチスの黨則を採用する外なく若し必要ならば余は來る十一月廿日南京に於て開催される五全大會に出席しナチスの黨則に倣ひ國民黨々規の改革決議案を上程すべし」と聲明したと述べてゐるが、黨の委員長蔣介石氏と密接なる關係を有する賀氏の此聲明は當地政界に重大反響を與へるものと注目される

第一回オール新京麻雀選手競技大會

日時　廿九日午前十一時
場所　記念公會堂大講堂
申込　九月廿八日限大日本麻雀聯盟俱樂部(電話五四四二番)
會費　金貳圓也
主催　大日本麻雀聯盟新京聯合會
後援　新京日日新聞社

大阪商船會社 廣東航路を復活

【神戶國通】大阪商船では上海事件以來廢止してゐた日本廣東間航路を愈々來る十一月中旬より復活するに決した

東京商品の新京展示會

今回東京市產業局内に東京優良商品展示會出品協會が設立されたが同會では來る十月十五日より向ふ六ケ月間新京に於いて商品展示を行ふ筈

王道學會老子學講義

九月廿九日(日曜)午前十時より新京記念公會堂第一集會室に於て

主催　王道學會
後援　新京日日新聞社

丁杏廬漫筆(八)
附屬地の重要性

(二)民族的に甚重要、滿洲朝廷が支那全土を統一して北京に國都を定めたときに支那民族の表面統御し易く見えて其實頗る困難動もすれば木乃伊取りが木乃伊になつてアベコベに此方が同化されて仕舞ふといふ危險などを萬々承知で常に異常の注意と警戒とを怠らなかつた、それで淸朝初期の皇帝の上諭には我が滿洲族は素樸剛健の特色を飽まで堅守せねばならぬ、決して奢侈華美の風に染んではいかぬといふ事を幾回となく訓戒されて居る。

×

又軍事的には支那全土に亘つて大都會並に軍事的重要地點には旗本八萬騎を全國に配置するが如く八旗駐防なるものを各地に駐屯にしてあるが此は單に兵士の駐　ではなくて妻子眷屬を擧げての半永久的駐屯であり市民とは雜居せず別に一廓をなし嚴然と構えて居つた而して一旦事あれば直ちに武器を取つて起ち叛亂を鎭定するといふのである、云はゞ滿淸朝廷の警備網であり觸手であつた處が百年程すると此が駄目になり、三百年程經て淸朝沒落のときには全然骨拔きになり、何の御役にも立たなかつた、滿洲族の文化の程度が低いからといふよりは支那民族(漢民族)の同化力反撥力の强靱なるに驚かざるを得ない、日本民族は滿洲族とは違ふ遙かに優秀であるといふて濟まして居れぬ、矢張此の支那民族(三千萬民衆)に對して豫め相當警戒すべきである。

×

其れには沿線各地に過去三十年間で我等の現代式『八旗駐防』が出來上つて居る、此れが附屬地である、出來るならば現在の附屬地は其儘として更に奧地新附屬地をドン〳〵增設して可然しとさへ思ふ位である。そして一旦事あらば直ちに起つて、彈壓を加へる策源地といふよりも如何なる場合にも漢民族が事を起す餘裕なき位の重鎭とならねばならぬ

×

且つ此の『八旗駐防』の日本附屬地は徹頭徹尾完全なる日本其物の延長でなければならぬ、行政權は勿論警察權も課稅權も日本の手に保留し到る處日本神社を奉祀し漢民族(滿洲國人)と雜居せず通婚せず日本其儘の風俗習慣を格守し何時迄も純粹の日本コンミユニチーを形成せねばならぬといふのは由來日本文明なるものは支那文明に對して派生的の地位に在る、それで派生的文明が本家本元の宗教的文明に接觸するとどうかすると其れに吸込まれる危險性が多分にあるのである早い話しが漢民族の衣食住は日本人に對して非常の魅力を持つて居る奉天の附屬地内に支那料理屋が何軒あるか知らぬが何の支那料理も常に日本人で滿員である、又支那服といふものは衣物本來の價値から云ふならば恐らく世界人類間に適した衣物であらう。支那人と見らるゝのが肩身挾く感ぜらるゝが故に餘り着用せぬけれど若し此が支那が一等國になり支那服を着た支那人が他の一等國民と共に同等に尊敬さるゝといふ時が來たら支那服は天下を風靡するかも知れぬ。寒熱共に不傳導的に建築されてる支那家屋も赤煉瓦の西洋風などの及ばぬ長所を持て居る游戲にした處で麻雀等は世界を席捲して居るではないか一体日本の持つてるもので如上の一つにも該當する他國民を引付ける魅力の何物があるかこう云ふ日本人が漢民族と雜居し支那食を喰ひ、支那服を着て麻雀をやり、鴉片を吸ふやうになり、不潔を何とも思はぬ樣に成つたならモー最後である。漢民族から見ればモー占めたものである抑も〳〵『淸潔』と云ふことが日本民族の根底を成す最も重要なものである、興隆する民族は淸潔を尊ぶ獨乙人はグリユンドリツヒ、ザオバ(根本的淸潔)である、蓋し汚され度くない常に淸潔であり度いといふのは民族としての最高の德性であらう。

×

支那食を喰ひ支那服を着て麻雀をやる日本人が女房丈は日本娘でなくていかぬといふのは餘程難有い事である、此れは次第に擴大して麻雀も支那食も次第に驅逐せねばならぬ要するに對滿經營と云ふものも日本民族と漢民族の對峙といふに過ぎぬ、處で附屬地を返してはならぬ、日本は負けて假にも漢民族(例へ日系官吏であるとしても)の支配下に立つといふことは純粹の日本コンミユニチーを維持する上に甚だ面白からぬ影響を殘す、一層のこと日滿合流の結果名實共に漢民族以前の行政官なり警察官なり徵稅吏が出來るまで暫く御猶豫あつては如何か、何も大急ぎで何もかも投げ出す必要はなからう

商況欄(九月廿七日後場)

金銀市況

●上海標金
前引　八九一、〇
後寄　八九八、三〇
步　九七、〇〇 / 九六、五〇

●大連金鈔票
寄付　一三四、五〇
引　一三五、九〇
高　一三六、〇五
安　一三四、四五

▲九月二十八日限　十月十三日限
出來高　二〇〇
寄付　一三四、五五 / 四、五〇
步　四、三五 / 四、一〇 / 四、九〇 / 五、〇五 / 五、三五 / 五、五五 / 五、三〇 / 六、〇五 / 一三五、九五 / 四、二五 / 三四七〇
引　乘
高
安
出來高　替

鈔票相場

●大連鈔票銀大洋　二二五、五〇　一二五、一〇
●奉天國幣對金票　現物　一〇〇、〇〇　一〇〇、〇〇
▲九月廿八日限　寄付　出來不申
引
高
安
出來高

上海爲替

▲日本向
第一回賣買　一三〇、七五
第二回賣買　一三一、二五
第三回賣買　一三一、〇〇　一三一、五〇
▲倫敦向
第一回賣買　一志六片一六分七　一二分一
第二回賣買　一志六片一二分一　一六分九一
第三回賣買
▲紐育向
第一回賣買　三七弗一六分二　一六分二三
第二回賣買　三七弗一六分二三
第三回賣買

大連爲替

▲上海向　九七、三〇　九七、三五　九七、四〇　九七、一〇
▲倫敦向　九七、六〇

株式相場

▲大連寄株式(短期)
五品新　一七、六〇
豆鈔　二三、〇〇　一八、五〇
錢鈔新　一五七、一〇　一五八、〇〇
東鐵新　一三六、〇〇
滿鐵新　六一、〇〇
二新
日產

▲奉天株式(短期)
寄　引
滿取　八一、九〇　八二、九〇
東新　一四〇、〇〇　一四三、一〇
鐵新　一五七、一〇　一五九、一〇
日產新　一二六、〇〇
大新　八一、三〇　八二、〇〇
五品　九六、〇〇　九七、〇〇
豆甲　一七、五〇　一六、五〇
電乙　一六、五〇
同鐵　三二、〇〇
滿拓　六二、〇〇　一二、五〇
東亞　一三、〇〇　一四、一〇
東興　五六、〇〇　一五、三〇
日毛　一四、五〇　一四、五〇
滿新　二五、一〇
二先　一六、〇〇　一六、三〇
優

各地市況

●横濱生糸
後場　引
當限　八六〇、〇〇
先限

●大阪期米
當限　三一、八〇　三一、九〇
中限　三二、一二　三二、一七
先限　三三、八〇　三三、八〇
●大連麻袋

新京取引所市況(九月二十七日後場)

物　一車　二車
大豆　二、〇〇
九月
十月
十一月　高
十二月　粱
一月
九月
十月
十一月
十二月
一月
二十八日限　鈔票對金票　十三日限
寄　一三四、八〇
引　一三四、〇〇
出來高　一万票　十万票
二十八日限　國幣對鈔票　十三日限
寄
引　一〇四、〇〇
出來高　一万票

手形交換(二十七日)

金票　一五枚　一〇、八一九四、四四七
鈔票　一一枚　四九、〇四四五
國幣　三枚　一六、六一六〇

改造

十月號特價一圓(送料四錢)
東京市芝區新橋七丁目　振替東京八四〇二番　改造社

秋季特大號

長篇小說　キリスト……賀川豐彥

キリスト教學界の權威者賀川氏の大小說を構めて世に傳へたるこの秋の今大讀物

▼選擧肅正と國民の自覺……佐々木惣一

常に我國民の政治教育を思念する博士が選擧肅正に就いて國民の自覺に訴へ、議會政治の眞髓と國體の本義との關係を論じて堂々百枚に及べる雄篇思想混濁の時に明澄加之論旨の熱誠と高遠の精神を以て貫く國民必讀の文字

今年の農村……小岩井淨

▼ドイツ敗戰の教訓……今井登志喜

戰時動員下の伊太利經濟……有澤廣巳

太平洋經濟と日本……阿部賢一

明年度豫算の特異性……牧野輝智

日本資本主義分析に於ける方法論……向坂逸郎

所謂講座派の驍將山田盛太郎氏の「日本資本主義分析」に對する向坂氏の一論壇の歐偉論

芝居うら　川口松太郎
久里土產　獅子文六
渡邊崋山　藤森成吉

小說　童謠……川端康成
小說　あど・ばるうん……十一谷義三郎
小說　待機……尾崎士郎
小說　一つの轉機……島木健作
長篇　壯年……林房雄

堀口と徐廷權……荻野貞行

思ひつくまゝに……里見弴

短歌　日川溪谷……松村英一
秋の歌……津村信夫
詩　宇宙塵……草野心平

利根の鱸釣り……朝倉文夫

岡田内閣の運命……佐々弘雄／山浦貫一／馬場恒吾

五段砧……内田百閒

千曲川に沿うて(繪と文)……石井柏亭

鳥を飼ふ話……山川均

寸評　街頭・映畫・劇壇・音樂・新聞・文壇

▼理研のプロフイル……佐吉
▼支那國民政府の新なる危機……廣瀨至宏

高橋是淸會見記……山本實彥

嗜眠性腦炎の話……佐藤三秀

財界風聞……菱田三友

懸賞入選　純正小說論……宇山雄二

刑事裁判の價値よりたる見下の貞操……沖村良可

座談會　今日の話題
長谷川如是閑／山川均／眞鍋嘉一郎／阿部眞之助／菊池寬／宮澤俊義／鈴木文史朗／山本實彥

世界情報
天氣豫報と成層圈……竹内時男(科學セクシヨン)
世界文化ニユース

新劇壇評判記……田郷虎雄
ハリウッド異變……松井翠聲
巴里の食道樂……柳亮
流行を斷裁する……保岡勝

フランス諸團體に於けるファシスト……大岩誠

商大白票問題の眞相……藤川忠一

日本探偵小說の多樣性について……江戸川亂步

逝けるバルビユス……小牧近江

政治家としてのゲーテ……阿部次郎

在米邦人勞働者の組織並に活動……加藤勘十

コミンテルンの動き……馬場秀夫

▼オーステリッツの太陽……大佛次郎

健康非常時　虫下しマクニンで突破

南滿

多年の待望に應ゝ 放送局の新設決定
日滿兩語による二重放送も 完成後直ちに實行

【大連支社發】全滿ラヂオ聽取者の約八割を擁する大連放送局の放送施設は大正十五年即ち遞信局の試驗放送時代その儘今日に至り電々會社が該事業繼承後も何等改善する處なく囂々たゝ批難を浴びてゐたが愈々本年度改裝するに決し既に豫算の承認も得、これが新放送局の敷地を物色中のところ、大体聖德街の高地現在聖德廟のある箇所の一部約一萬坪に新樣式を誇る近代的放送局を新築することに內定した模樣である

新設を見る新放送局には新に高さ七十五メートル自力式絕緣型鐵塔二基が立てられ、これに張られる大アンテナよりは電力一キロワットに依る放送が開始されるもので水晶制御低電力變調方式の電々會社自慢の新放送機械も既に到着して据付を待つばかりである。

豫てより研究中の二重放送施設は新放送局の完成を俟つて實行されるものとみられ第一第二放送とも一キロ電力により行はれることになる模樣である。

而して第一放送を日語にて第二放送を滿語にて同時放送が行はれるものであり、放送種類の內容充實さるゝと共に多年待望の日滿兩語に依る二重放送が完成を見ることはラヂオに依る文化敎導の使命を果し王道樂土建設への好條件となるべく各方面より期待されてゐる

大連汽船專務 增田氏引退

【大連支社發】滿洲事變後海運界好調の波に乘り業態も漸時黑字に轉じ將來を刮目されてゐる大連汽船會社では二十八日定期株主總會が開催されることになつてゐるが、先きに留任か引退か諸種の風說に上つてゐた增田現專務は任期滿了と同時に引退確定せるものの如く後任としては前專務安田征氏が內定をみた模樣である。

增田專務は在任中古船購入問題などに絡る北鮮航路の割込失敗、所有船舶の羅災等幾多の惠まれざる事件に遭遇してはゐるが、あの赤字時代に乘り出し滿洲事變の御蔭があつたとは言へ現在の黑字大連汽船を築きあげた功勞はたゝへねばなるまいと言はれてゐる。

呂民政部大臣 承德に滯在

【承德國通】東滿視察を了へた呂民政部大臣一行は二十六日午前九時五十五分飛行機にて來承、出迎への在承各機關長、省公署職員、協和會員等に對し特に一々挨拶をなしつゝ總務廳長公館に入つたが、二十六日は川岸本部隊衛戍病院を訪問後午後六時三十分より料亭萬里に於る省長の招宴に臨む筈だが二十七日まで滯在、各方面を視察し廿九日朝飛行機にて離承の豫定である

鐵道部、總局を合体し 新機關を大連に設置
＝奉天には鐵道局新設＝
全滿鐵道の一元化

【大連支社發】滿洲の鐵道經營が鐵道部と鐵路總局とに分れ對立してゐることは經營上頗る不便であるため之が統一は首腦部に於て研究が續けられてゐたが最近愈々之の機構改革の機運が熟して來た模樣である、仄聞する所に依れば新機構は鐵道部と鐵路總局とを一丸として新機關を大連に設置し鐵道部は奉天に移して奉天鐵道局とし滿鐵プロパーの管理に當り更に錦縣、吉林、哈爾濱、チ、ハル、北鮮の五ケ所に鐵道局を置くもので大村副總裁の着任後急速に實現する模樣である

蒙旗代表座談會 各方面注視の中に開催

【承德國通】熱河省蒙旗移管問題を左右する蒙旗代表座談會は廿六日午前九時より省公署會議室に於て開催された、同座談會には折柄來承せる呂民政部大臣、土肥原奉天特務機關長をはじめ中央こり派遣の蒙政部關口總務司長以下關係者、現地側より田中特務機關長、原總務廳長ほか在承各機關長、熱河九旗代表、各縣參事官等八十四名出席し左の件案につき討議し午後五時盛會裡に散會した

一、昨年の王公會議に指示せる要項實施狀況
一、熱河都統の權限と縣旗行政の沿革及び現狀報告と舊熱河蒙旗制問題に關する事務の進捗狀況
一、鑛業法についての注意及び希望
一、登記制度實施に關する注意及希望
一、縣旗間の連絡方法に關する旗代表及び縣參事官の意見交換
一、各機關との質疑應答

運用につき今後一層の適切な方策が生れるものと期待されてゐる

尙は中央部でも同會議を重視し農政科長、臨時產業調査所員外二、三名が臨席することになつてゐる

奉天防空演習

【奉天國通】廿六日夜八時北方沿線監視所より敵機襲來の報に奉天防衛地區は完全に黑一色を以て塗り潰されたので公主嶺發奉天爆擊の目的を以て襲來した重爆擊機は奉天を發見し得ず鞍山迄飛行し鞍山昭和製鋼所の溶鑛爐の火を發見し之を以て奉天と感違ひし數時間に亘り飛行し殆んど目的を達し得ず歸還した奉天防衛地區の燈火管制は完全に成果をおさめた

前例の奏効に鑑み 移動衛生講演會
衛生科對策に邁進

【ハルビン支局發】濱江省警務廳衛生科では管下縣民の衛生思想喚起及び衛生施設の改善などにつき常に凡ゆる機會を利用して努力を拂つてゐるが、今回新しい企として衛生講演班を組織して各縣を巡回せしめ、耳による衛生思想の注入、目からするパンフレット寫眞、繪畫による各種傳染病の症狀說明などを行つて、舊來の陋習を是正することとなり、第一回の講演會を呉輸純防疫股長、林賀警長の兩氏によつて先づ九月十七日綏化十九日海倫で開催し多大の効果をおさめて一先づ歸廳したが、衛生科では好成績に鑑み今後は隨時に各縣をまわり講演會を續行する筈である

聞くところによると綏化の講演會は千五百余名の聽衆をあつめ官公職員、學校生徒、一般地方民などに多大の感銘を與えたとのことで呉股長は各種法定傳染病の症狀及傳染經路、豫防方法日常飲食、起居の注意、豫防注射に對する知識などにつき詳細に講述した

尙ほ林賀警長は、兩縣下の衛生狀況時に屠宰場、井戶各種營業監査狀況などにつき視察するところあつた今回の濱江省の新計畫により縣下衛生狀況は一段と改善されるものと期待されてゐる

"大穴だッ" 幸運兒放心す
現實の一攫一千七百十二圓

【ハルビン支局發】哈爾濱國立賽馬秋季第三次第二日九月二十四日成績左の通り

一、入場人員　三、二〇〇名
一、勝馬票單式　賣上　一九、一七〇、〇〇
一、同　復式　三五、六六〇、〇〇
一、採彩票賣上　一一、四五九、〇〇
合計　七六、二八九、〇〇

尙當日は春季皇靈祭に孔誕節を兼ねた休日で文字通りの天高肥馬の秋日和に大變な人出で廣いスタンドも人を以て埋める盛況に競馬も回を重ねるにつれ白熱化し最終回にも近い第十賽馬に於て俄然前古未曾有（?）の大番狂はせが突發した

第十賽馬、抽籤馬競爭に意外第十番馬「小鼠」（騎手セレダ）が第一着に入り觀衆啞然たる內に配當告知板に表はれた數字は何んと單式總賣上四百廿八枚の內右一票で其の拂戾金一千七百十二圓正に哈爾濱競馬始まつての否滿洲では未曾有の大穴で此の好運兒を見んものと支拂には黑山の人盛りだ、然し一向福の神の化身らしい御本人の姿が現れない、突如人込をかき分けて三十五六才の日本人紳士が窓口に立つた、わーつと上つた喊聲の內に一千七百圓を受取り意外の幸運御當人いさゝか放心の態

漸く吾に歸つて衆人の羨望を尻目に急ぎタクシーで姿を消した聞く所に依れば當人は最近所用で濱津から來哈、一日の休みを幸ひ競馬見物に來て思はぬ幸運に惠まれたとの事で國際都市哈爾濱近來のエピソードに市中の話題を賑はして居る

北滿

農村政策の確立期し 產業指導官會議
濱江省實業廳で開催

【ハルビン支局發】濱江省實業廳では既報の如く、北滿農村の再建、窮乏農村の救濟及び產業開發の見地から種々の積極政策を執り來たつたが、豫てより模範農村の設置、優良種子配給、品評會の開催による斯業の獎勵などの施設をなしてゐるが、之等の施設をより效果的に經營指導するためには各縣自体の實際狀況及び之が運用につき種々打合せをなす必要あるものとして、廿七、八の兩日、海倫、綏化、呼蘭、慶城、望奎、靑岡、蘭西、安達、肇州、巴彥、阿城、東興の十二縣の產業指導官を召集して產業指導官會議を開催する豫定である

主なる討議事項左の如し

一、縣農事試驗場及び試作場の經營方法
一、模範農村設置
一、小麥　大豆の種子普及
一、苗圃の設置
一、家畜改良及び獸疫豫防
一、農產物品評會開催

右會議の結果は諸施設の經營

東滿

吉林觀光協會主宰 紅葉狩り開催

【吉林支局發】秋風野山に遍く吹き渡りて龍潭山の紅葉も見頃になつたので、當地觀光協會では二十八日と來月一日の二日間鵜飼遊覽と紅葉狩りの會を催すことゝなり每回六十名の限度で會員を募集してゐる、當日のコースは午後一時に省公署前を屋形船に乘つて出發、美形連のサービスで辨當や川魚料理を肴に酒杯を上げつゝ下航し江南天主堂前に上陸して暫らく散歩、再び乘船して下流に向ひ鐵橋附近にて豪壯な滿洲鵜飼を見物し更に龍潭山の紅葉を賞し歸途はバスにより吉林驛前で解散する筈、會費は酒辨當川魚料理の上に各料亭美形連のお酌つきで三圓と云ふのだから多數の參加者を見ることであらう

興安北省 交通の概貌（下）
燥原と斷崖峽谷の連續 錯雜の地縫ふ未開交通

自動車交通

海拉爾—上庫力間は自動車交通は容易であるが以北の諸河川は自動車の渡涉が頗る困難の爲結氷期以外此の地方に於ける自動車交通は殆んど不可能と云へる、海拉爾—ドラガッエンカ間の自動車交通は全然不能ではないが概ね泥土に阻まれて立往生し勝ちである、滿州線と三河農場地を繫ぐ自動車輸送も漸くその緖についた現況にあるが將來は國際運輸其他の活躍に依り三河の小麥製粉等が比較的容易に海拉爾方面に迄注入されるであらう

冬季間の交通

當地方は北滿の他地方に魁けて、十月末には早くも諸河川濕地等は凍結し、見渡す限り一面の原野は氷原と化して交通には何等の支障を來す事なく、ハイラルより三河及吉拉林迄自動車によつて二日行程で樂々到達し得る、吉拉林以北は重疊たる山岳が多いので結氷後は專らアルグン河上を馬ソリで交通してゐる

斯の如く僻遠の興安北省は冬に入れば交通の容易と農閑とが倆々相俟つて街道の往來は頗る活況を呈し、馬車、牛車等が數臺、多きは數十臺一團となつて人も馬も銀柱を垂らしながらサヤン風吹きすさぶ路上を、ハイラル方面に出かけるのである

上述の樣に興安北省の諸道路は大部分が自然路であつてハイラル河以外には全く橋梁無く渡船及び渡涉に依つて渡河交通するのであるが、降雨に際しては屢々交通杜絕に陷ることと珍らしくなく、從つて豐富な天產を有し乍らも遙か文化に遲れて產業開發も遲々として進まないのである、奇乾村民に會つて試問した處「先づ第一に道路の開鑿が望ましい」との熱望に接したがこの地方に於る交通路の完備こそ滿洲の有望資源開發上焦眉の重要問題ではあるまいか

水　路

アルグン河はその上流三河地方より吉拉林に至る間は處々に淺瀨多く、又羊腸の如く蜿曲の度合甚しく舟楫の便は先づ望み得ないが吉拉林より下流のアルグン本流は水量豐富で蜿曲も少なく帆船は勿論增水期には汽船の往來も容易である、この地方は沿岸は斷崖、密林多く道路が甚しく不良の爲交通は專ら舟運に依るのである

下流奇乾には戍克（五〇〇布度積）十數隻を有する運送業者さへあり、吉拉林及びその北方西口局、漠河方面と貨客の運搬をなしてゐる、吉拉林以北各主要地間の舟運に依る航行日數は次の如くである

	下航所要日數	遡航所要日數
吉拉林—奇乾	二日乃至三日	一週間
奇乾—漠河	十日	廿日
奇乾—大黑河	廿五日	二ケ月

右は何れも順風を孕んで航行する場合の日數で逆風の際は倍以上の日數を要する

アルグン河の結氷

アルグン河の結氷は陽曆十月下旬頃であつて結氷前十日乃至二十日即ち九月下旬頃には早くも流氷を見危機の爲航行不能に陷るが完全結氷後五日もすれば十月末には氷上の交通が自由となる

解氷は普通四月下旬乃至五月上旬であるが、三月中旬以後はに氷上交通は危險に曝され中止される

左に最近十ケ年間の解氷及び結氷期を示して見よう

		早い年	遲い年
△解氷期	吉拉林	四月十七日	四月二十九日
	奇乾	四月八日	四月三十日
△氷塊期	吉拉林	九月廿五日	十月一日
	奇乾	十月十三日	十月十六日
△流氷期	吉拉林	四月二十日	四月廿四日
	奇乾	五月二日	五月二日
△結氷期	吉拉林	十月二日	十月十六日
	奇乾	十月廿六日	十一月四日

其他航行標識等に就ては別稿露滿國境風景に前述して置いたから玆に省略する

家庭

母親の知らねばならぬ 牛乳の知識
簡單な消毒法と 良否鑑別法

牛乳は母乳の代用品として、また病人の食餌として、最も手近に得られる最も優秀な滋養物でありますので、取扱並に使用法の如何によつては忽ち

黴菌が 入り易く、その結果がへつて有害となる場合がありますから、充分注意を拂はねばなりません、牛乳は生で用ひてよいか、煮る方がよいかといふと、これは勿論無菌的のものならば牛乳屋から來たものを早く飲めばよいことになりますが、そこで黴菌が少いと云ふ證明があれば無論ビタミンも流れないから生が宜しいのです、しかし普通市内のではどうかと懸念される場合、一番家庭で實行されやすい

簡便な 證明法はワルク氏の方法です牛乳が古くて黴菌が多いならばどうしても酸度が殖えますそこで酸度の試驗をするのです、牛乳と同じ分量の七十パーセントのアルコールを加へるのであります、そして交ぜますと新鮮な酸度の少いものは何の變化も起りません、もとの狀態です、しかるに少し古くなつて居ると細かい塊が出來て來ます、かうして變化のないものでもやはりチブス菌や結核菌の有無は證明されませんから、一應消毒して飲む方が安全です、普通牛乳屋では大概一度消毒して殺菌を行つてありますが、なほこれでも心配ならば簡單なるソクスレットの方法で

消毒し たらよろしいでせう、それはお湯の中に罎をつけて煮立たせてから三四分たつたらだん〳〵水を加へて冷やしてしまひには冷水に一罎の儘冷たい所に蓄へておきます、も一つ簡單には鍋の中で煮るのです、こんどは牛乳を飲ませる時の注意です、きれいな入れものに分けて飲ませなければなりません、コップをきれいに洗つて飲ませます、それでもまた氣になるならば麥藁で飲ませますが、健康な子供ならばそれ程までにしなくてもよろしいと存じます、なほ

牛乳の 中へ單味でもよし砂糖を少し加へてあまみをつけても構ひません、少し大きい赤ん坊には牛乳とパンと一緒に食べさせても結構です、ただ問題になるのは、體質の違つた子供だと思つてむやみに牛乳を澤山飲ませることも考へものです、幼兒並に學童には一日二合、即ち四百グラムの見當でよろしいのですが、その上にやつてはかへつて有害です、朝と午後のおやつ位にやります、次に牛乳は消毒した罎に入れることです、使つたあとは重曹で洗ひ冷水でよくすすぎ殺菌してから使ひます、でないと牛乳の粕が罎に殘つて居ると空氣中の黴菌の爲めに變化してかたまります せつかくよい牛乳を入れても

腐敗し やすいおそれがあります、殊に赤ん坊は少しづつ度々飲ませますから、充分氣をつけてきれいにせねばなりません、また乳屋へ罎を返す時にも道德上からも氣をつけたいことであります。

秋漸く深し　西公園にて

家庭料理の味は 主婦の誠意如何
料理本位 榮養本位 共に駄目

味覺の秋、食慾增進の秋とか俗に申します。御家庭の食卓の上に秋ほど、豐富に海のもの、山のもの野のものを飾れる時はないかも知れません、殊に近年一般の婦人が

家庭 料理といふものに對して異常な關心を持ち始めて來たことは一つの流行かとさへ思はれる程で毎日の食事について榮養や味のことを考へないのは家庭婦人の恥であるかのやうになつて參りました、家庭料理といふものは元來、お料理屋の料理でもなく、榮養研究所のお料理でもありません。即ち家庭料理の第一の問題はここにあるのでして、「味」に走りすぎても「學理」に走り過ぎてもいけないのです、更に大切なことはどんなに

榮養 的でどんなにおいしくいただけるお料理であつても非常に手數がかかり、時間がかかりお金のかかるお料理では限られた家庭ではいざ知らず一般家庭の家庭料理にはならないのです。そこで家庭料理の生命といふものはどういふ所にあるのかといへば「學理」に走りすぎず、「味」に走りすぎず、そして形をつくるため、また材料を變化させるために出來るだけ手數をかけないやうに、簡單にして感じのよい安い

料理 をつくる—といふ風にしなくてはなりません。例へばお刺身です、お刺身は料理やだの魚やだのにつくらせれば大變切れ味も美しく出來上ります、けれども家庭でその眞似をしやうとするとさうはいきません。又そんな眞似をする必要はないので、お魚を大切れで二、三十錢求めそれを鹽水で洗つて布巾で水氣をとり、四五分角のサイの目に切つて胄じそにおろし大根でもつければ安くて

立派 なお刺身が出來るのです、家庭料理のコツはここにあるのです、ただ、問題になるのは主婦に誠意があるかないかで、家庭料理位この主婦の誠意の有無がその味に影響するものはないのです、云ひ換へれば家庭料理の味は主婦の誠意の味ともいへるのです。

家庭メモ

◇酒の醉を醒す方法　酒の醉には南天の葉をかんでその汁を飲むと吐いてしまふ。

◇針の体に入つた時　蘇鐵の葉をすりつぶしてうどん粉で煉つてつけておくと吸ひ出される

◇鯨の澁味を除く法　米の磨汁に二日位浸して煮たたせた時燒いた火箸でかき廻す

◇割れかかつた卵は　茹でる時、湯の中に鹽を一つまみ入れるとよい

◇澤庵のつけ方　榮種屋から甘草を求め大根と大根の間に挾んでつけると美しくなる

今日の獻立

（朝）▲味噌汁＝今朝は豆腐の胡麻汁を頂きませう　胡麻をよく擂つて味噌を加へ煮出汁でのばして、中身に豆腐(あられ切)を入れます。

（晝）▲ずゐきの煮つけ＝ずゐきは皮をむいて、適宜の長さに切り、水に晒らしてから、鰹節、醬油、砂糖で煮つけます。

（晚）▲天蓉蟹＝蟹や葱や椎茸を玉子と混ぜて、オムレツのやうに燒く支那料理です、蟹は罐詰から出して筋を除り、葱は小口切に、椎茸は水にもどして、みぢんに切ります。フライ鍋に、胡麻油かヘットを少々煮熔し、椎茸と葱をいため、鹽と味りん(又は酒と砂糖)で味をつけ、野菜と一緒に混ぜ合せ、別にフライ鍋に油を引いて、適宜の厚さに流し込み、暫くの間、箸でかき廻しあと弱火にして、蓋をかけて燒きます、表面が半熟ぐらゐになつたら裏返して燒き上げ、大き目の三角形に切つて、醬油またはラオスターソースで頂きます▲さんぎ大根の甘酢＝大根を一寸くらゐの算木に切り(丁度、短册の分厚いもの)鹽をしてしんなりにし、甘酢で頂きます。

ラヂオ

けふの番組
（M・T・O・Y 新京放送局）廿八日（土曜）

（朝）
六、〇〇 建國體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連）
引續き 入港船の御知らせ（大連）
六、三〇 初等滿語講座（大連） 講師 秋分周太郎
七、〇〇 初等日語講座（奉天） 講師 近藤喜助
七、二〇 天氣豫報（大連）
朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 音樂（レコード）
九、二〇 料理獻立
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 婦人家庭講座 廢物利用のいろいろ 赤塚久子
一〇、二〇 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五〇 野球試合實況（東京） 東京大學野球聯盟リーグ戰（雨天順延）—明治神宮外苑野球場より中繼—
○備考 左の放送時間には中斷す
一〇、五九 時報（東京）
一一、〇一 經濟市況（東京及大連）

（晝）
一一、四〇 ニュース（東京）
〇、〇一 經濟市況（大連）
一、二〇 ニュース（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連）
雨天中止の場合は以下編入
一一、四〇 ニュース（東京のニュースに引續く）
〇、〇一 經濟市況（大連の經濟市況に引續く）
〇、二〇 晝の演藝
〇、四〇 建國體操（滿語）
一、〇〇 演藝（滿語）
二、〇〇 日用品値段
二、四〇 演藝レコード（滿語）（大連の經濟市況に引續く）
三、三〇 經濟市況（大連の經濟市況に引續く）
三、五〇 ニュース
五、〇〇 子供の時間（東京） 傳說物語 玉の井戸 白神久一 外數名
五、二〇 子供の新聞（東京）
五、二五 今晚の番組（日・滿語）

（夜）
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 氣象通報・番組豫告
六、二五 政府公報（滿語）
六、三〇 國民の時間 郵政大觀（一） 金鏡深
四、三〇 ニュース（鮮語）
四、五〇 演藝（鮮語）
○備考 野球が延長した場合には中止す
七、〇〇 レコード
七、一〇 清元（東京） ヤマトガナタムケノイツモジ 大和い手向五字 清元志壽太夫
七、三〇 ラヂオ小說（東京） わら人形の婿（三） 澤村田之助
八、〇〇 時事解說（東京）
八、三〇 時報ニュース（東京） 引續き ニュース
八、四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇（奉天） 女起解 蘇三 潘水名票 公道 陶秋影 場面 朱策育功 馬興安乾 外五名
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱）

探偵ラヂオ小說
藁人形の婿（第三回）
後七・三〇 東京より
長谷川伸 原作
澤村田之助 出演

今回のラヂオ小說は大衆文學の大家長谷川伸氏がサンデー毎日に書いた讀切長篇小說である、この作品は同氏の近作に屬するもので、一種探偵的の興味が盛られてあるのと、出演の澤村田之助の藝風に適當してゐるところからこの小說を三回に亘つて讀むことになつたのである

◇……◇

第一回は大竹三十郎の妹梅代は藩內で美人の聞え高い娘であつたその娘を嫁に所望したのは同藩の上役相田市郎右衞門の息子佐仲であつた、ところが梅代は佐仲が嫌ひで若し强ひて嫁入をさせれば自殺さへしかねない様子なので兄の三十郎は同姓の大竹小文次にその話をした、小文次は名案愚案考へたが結局梅代が氣狂ひになるか相手の佐仲を殺すより他に道がないなどと語りあつた、ある月のない夜松並木を通りかかつた佐仲は小文次に斬りつけられた佐仲に小文次だといふことを知られると小文次はもう駄目だと思つた、そして腕の弱い佐仲を小文次は斬つてしまつた

その年の秋梅代に第二の緣談が噂された、それは亡き佐仲の緣者の口添えで甘利喜惣次の長男甲子太郎であつた、が、その甲子太郎が斬られたといふことであつた、その譯を小文次は家にゐて聞いた、そして甲子太郎討ちは誰れであつたか判らずじまひになつてしまつた、そして第三番目の婿の噂が起きかけた頃梅代の兄の三十郎は小文次に逢つてみるとなんとなく小文次が梅代を欲しさうなのに氣がついた、三度目の花婿は野際忠左衞門といふ男、腕のよく利き者であつた、ある夕刻何を思つたか小文次がさほど親しくしてゐない忠左衞門を訪問した、その時忠左衞門は留守であつた彼はすぐ歸つた、二度目に訪ねてきて又留守、門の外へ出やうとしたときに野際家の小者入助はころげるやうにして馳けこんできた、といふ二回目の後をうけて今晚は最後の放送である

◇……◇

第三回の花婿候補者忠左衞門の殺された時小文次が彼を訪ねたために忠左衞門の加害者は小文次であらうといふことになつて、きびしい取調べを受けたが、事實でないのは明白となり、佐仲の加害者であることも判らなかつた、さうして數ヶ月の後、小文次は梅代の花婿の加害者を探すために、自分が第四人目の花婿となることに相談した、元より小文次は案山子同樣の婿であつた、しかし小文次は嫌疑のあつた爲め、自ら好んで浪人となつてしまつてゐた、浪人の暇な身體であるから毎夜ぶら〳〵出て步いた、第二第一の加害者を探すためであつたある夜小文次のあとからついてくる侍のあることを知つた

顏ははつきりしないがそれは最初に死んだ佐仲の弟の藤三郎であることが分つた、果して小文次に斬つてかかつた受け流してつかまへたが藤三郎は言葉たくみに逃げやうとした、が結局藤三郎は殺された兄の無念を晴らすために二人を斬つたのであり、自分で最後に亡き兄に代つて梅代の婿とならうとしてゐることが分つた、ある夜大竹家へ二人の男小文次と藤三郎が訪ねて一切の事情を自白しそして二人は相討ちになつた、そして最後に殘して小文次の言葉それは藤三郎と小文次とはお互ひに異つてゐて同じ男であつたといふことであつた。

清元「子守」
—大和い手向五字—
〔後七・一〇 東京より〕
清元志壽太夫 外

【解說】この曲は文政六年、江戶森田座の三日狂言に上演した、岩井紫若が五節句の所作事で、一は子日小松曳（長唄）二は上巳雛櫻狩（常磐津）三は端午粧人形（大薩摩）四は七夕星祭祀（清元）五は重陽菊花傘（長唄）で、この五ッを合せて「大和い手向五字」（やまとがなたむけのいつもじ）としたのは、三代目澤村宗十郎廿三回忌、四代目宗十郎十三回忌（翌年十三年にあたる）田之助七回忌の追善興行であつたからである。そうしてこの內の「七夕星祭祀」が即ち「子守」で、作者は增山金八、滸元は延壽太夫、榮壽太夫、宮路太夫、三絃齊兵衞、德兵衞であつた。

◇……◇

「オヤヲかな何としよえ合「アイタ、、膝頭を擦剝いた（合）憎い蔦づら油揚さらうた、オ、〳〵泣くなよい子ぢや、こんな物やるな（合）お日樣いくつ、十三七つ（合）まだ年やいかぬ（合）山出しが都々逸「わたしや何うでもからでも、あの人ばかりはあきらめられぬ、ぢやによつて讃岐の金比羅さんへ願でも掛けませうか（合）仇國の「花さへ咲かぬ生娘の（合）枝姿振もぶつきらぼう（合）鼻緒切らして片々提げて、がつくりそつくり（合）みとり子おろして、これからは合「並べたてたる人形店、サア〳〵安賣ぢやぢや何でもかでも選取りぢや合「緣は禿紅は（合）花の姿の姉樣を 中ギン合「口說文句は淨瑠璃で、聞き覺えたをその儘にクドキ「ほんに思へばあとの月、宵庚申の日待の夜（合）甚句踊や小唄節、ある中にこなさんの 中ギン合「お江戶で云はゞ勇み肌、好いた風ぢやと背戶家から、見かぢり申しゝなま中に（合）氣もあり松の藍絞、色に鳴海と打明けて（合）晚は忍んで來めさるならば、コレナ嬉し、かろでは（合）ないかいな、なぞと浮かれて座頭の坊 合「冴えた月夜にやみ市ではないかいなア（合）やみ市なりやこそ黑なア（合）炭屋のお客と行くわいな（合）坐敷で何をひかんすえ、盆の踊にな（合）まめかし（合）越後かわたしも越後（合）お前越後かわ合「新潟出る時涙で出たが（合）二上り合「今てならぬ、は新潟の夢も見ぬ、合「オ、イ船頭さん、寄てかんせの、戻りに鯨でも積んでごんせの合「踊をどらば品よくをどれ（合）品のよいのを嫁にとろ 合「松前殿樣持ち物は、烏賊、蛸、海鼠にちんの魚（合）寄らしやんせ（合）面白や 合「またも鳶めとろゝとは、太い奴と豆腐屋へ、子を引かたげて急ぎ行く

家庭講座
【前十時より】
廢物利用

炭の粉の利用
一、戶棚の隅などに器に入れておきますと戶棚のカビ臭いのなどを消します
一、下水道に沿うてまいておきますとミヽズの發生を防ぎます、又御便所の汲取口へまきますと臭氣を消します
一、果物や野菜類の腐敗を防ぎます
一、飲料水の濾過用
一、防濕の用

石炭の殼利用
一、立木の肥料
一、通路の惡い箇所へ

茶殼の利用
一、掃除の際まいてはくとほこりがたゝない
一、油物肴物の皿を洗ふ
一、枕の中味
一、臭氣止め

子供の時間
玉の井戶
【後五時東京】
白神久一 外

大阪住吉區大海神社境內の玉の井戶と云ふ井戶にまつわる傳說をお話致しませう。昔お兄樣を火照命（ホデリノミコト）御弟樣を火遠理命（ホオリミコト）と申す御兄弟の命樣がいらつしやいましてお兄樣の火照命樣は毎日海へ釣りに火遠理命樣は山へ獵にお出かけになつていらつしやいました。

或日火遠理命さまには山へはお出かけにならずお兄樣の釣道具をお借りして海へおでかけになりましたが大切なお兄樣の釣針を失くして歸りましたのでお兄樣のお怒りに觸れお困りの末濱邊で悲歎に暮れるうち海の神樣の御示しで海の神樣のお住ひを訪れ、鯛がうばつてゐた大切な釣針を再び手にしその上不思議な二つの玉をいただいてお兄樣の許に歸る事が出來ました、その後御兄弟仲よくお暮しになつたと申します。詳しくは放送の時に申上げます。

文藝

中島　新氏の作品について　―上―

稻垣輝安

中島　新氏は「合萌」の準同人として脇目も振らずに短歌の研究に沒頭して來た一人である。特異な神經の持主として既に定評があつた氏の作品が努力は報いられて近時益々その特異性を發揮して來た事は非常な注目を引き新人として驚異の的となり周圍の注目を集めるに至つた事實は最早動かす事の出來ぬものとなつた。それは他方杉浦翠子氏中心の短歌至上主義に於て二回の投稿にて直ちに指摘されて準同人となり連續の發表作品は凡て杉浦氏の眼を引いた事にても諾かれるのである。彼は大きな野心を抱いて中央歌壇に肉迫せんと腕を摩いてゐる。併し氏の作品は未だ完成されてゐない。發表された作品は氏の仕事のほんの初歩の部類である。氏の前途は洋々たるもので私が今氏の作品を羅列して云々言ふ事は氏にとつては非常な迷惑でもあらうが、氏の作品をこの欄を讀む人達と語り合ふといふ點に就ては氏の藝術そのものには何等の支障をも與へるものではないと思ふ。否　私は氏の作品が多くの人に或る何ものかを示すならばと敢て饒舌をも恥とせず紹介したいと思ふ。

中島氏は旅順の山の手の閑寂な家に靜かに短歌そのものに取卷かれてゐる様な生活をしてゐる。氏は又戀愛歌人としても一特色を持つてゐるがこの部類は後章に述べる心算である。私はこゝに昭和九年以降の特に私に興味を與へた作品について書いて見たいと思ふ私が氏と交渉し往來繁くなつたのは其の年からであつたからである。「合萌」で特異的な歌人として存在を示してゐる人には、島田のはぎ、西澤流、安藤英子、河上知風草、氏即ち中島　新の諸氏の名が擧げられるのであるがその中でも中島氏の作品には溢れる如き若さが漲ぎつて其處に限りない魅力をたたえてゐる様である。

五月雨の家をめぐりて降る雷のみだれぬほどに夜は深けれ。（合萌九年八月）

此の歌は單に五月雨が夜更に寂しく降り續いてゐるといふ平凡な表現内容でなく一歩突進んだ思念の世界の感覺のもとにその感覺を歌つたといつてもよいと思ふ。「降る雨のみだれぬ程」に夜の深いのを（勿論この「夜」は時間的な夜の深さ淺さをいつたものでなく夜そのものの靈即ち夜を指すのである）知るといふのであつて「家をめぐりて」が其感点から味へば誠にしつくりとこの歌をよく生かしてゐると云へる。靜かに唱してみれば五月雨の香が私達の衣服に泌みこんでくる様である

燃ゆる爐の唸りみだれぬ部屋なかに水仙の青さは熔光あつむる。

獨り居に慣れしとは云へ燃ゆる爐のみだれぬ雷はきくにたえめや。

前者は單なる敍述的表現でない事がわかるであらうし、後の歌には「みだれぬ雷はきくにたえめや」の個所が神經の鋭さを示してゐるのである大低の人はストーヴの焔の衰へてゆく所にいひしれぬ寂しさを感ずるのであらうが、作者は火力が盛に雷立てゝ外界の風雷と相呼應して燃え盛つてゐるストーヴのうなりにこの多の夜の余りにも靜けさの中にゐて尙この燃え盛る爐の雷は聞くにたえられる事だらうかといつたのであるが、勿論作者も獨身生活者であるが私もかういふ境地は度々得るのである。氏は昨年の多から短歌に於ける境地を進展させ開拓した。旅順歌會はその頃五日に一回といふ五日會のもとに尤も熱の上つた時で議論百出した頃でもあつた。これは余事として今年三月號に發表した「白夜」一連から氏の作品には著しい變化を來し益々特異性を發揮して來た。

白夜

夜空動かぬ月あかり雪の老鐵山は海よりたちて空に迫るも。

十五夜の亂れぬほどに雪の官舍街は整然として對ふ夜空に。

雪の官舍街は整然なれや空のもつ群星と月の位置のたしかさ。

降りをへし雪は官舍街をたもちけり唯さんとして月の照すも。

○十五夜の市井に群がる犬群の夜空に和してひとときを保つ。

○群犬のおのがこだまに吠ゆる音のおのおの和して夜はふかけれ。

ものの雷の地底に起たぬ雪あかり眞白きもののもつ郎かさ。

十五夜の光に極る雪の色や街一白の迫るおちつき

○十五夜を雪一色に天地は和したりと見る魂のしづけさ

ここで十五夜は滿月の夜の事をさしたのであるが十五夜とは十五日の夜の事で滿月の夜の事ではないのであるからこれでは不當である、何か他の言葉と更へねばならないと杉浦氏も云はれてゐたが之は作者の感違ひであらう。併しこれは語句上の問題であつてこの問題には今は觸れない、この一聯は凡て非常な固さをもつてゐる。その爲に第一首は明らかに失敗作である。唯言葉の別に過ぎず歌としての何の音律感（言葉のメリハリ）もないのである。併しこの一聯全体に何か平凡に流れようとする短歌を智性のもとに生かさうとした努力がありありと察せられる。文字藝術たる以上はどうしても表現の問題に歸着するのであるが、此の點について自分の内面にあるものを自分が滿足する迄言葉を練つて表現してゐる、而してその表現がかういふ結果をもたらしたのは科學的構成の意圖のもとに創作した結果である、それが無理だと思はせる點もないとはいへないのであるが私はそれをむしろ喜ぶのである。例へば「ものの雷の地底に立たぬ雪の夜」といふ様な言葉は人は明らかに非難の聲を浴びせるに疑はないのであるが旅順のやうな物靜かな土地の雪の夜に立つた時には「靜かだ」とか「寂しい」とかの露骨な輕い言葉ほ到底使はれない程の感に迫られる。さういふ時の心境は「靜かだ」とか「寂しい」とかの言葉を以て滿足出來るやうな淺薄な心ではないのである。これは誰しもが經驗する事であらう「街一白の迫るおちつき」を感じてはこの言葉を發せざるを得なかつたのである。勿論この言葉は自づと流れ出た言葉ではない。作者が考へた言葉である。私は短歌を創作するには實感に即してこの考へるといふ事が大切であるこの考へる（創作意圖）といふ事に就て歌人は關心をもつべきだと思ふ。だが大膽から見るとこの一聯は氏の發足點の第一歩である点に於て作品は若いといふ事をまぬがれない。だが之等の作品は短歌藝術の一方面を脊負ふものである事は疑をもたない。傍点の個所の表現は確かに一歩深く感覺の奥に突入し對象を摑んでゐると同時に流動性ある事に注目し行動精神の多分に富んでゐる作品（〇印）も見受けるのである。

歌抄

關谷雅子

尿たすと素肌にひえてあかつきの深める空の秋づきにけり

むらだてるくもの去來あらかに時雨ともなふ日もありにけり

こほすまじ老いず母のひきたまふこがしの包しづかにとくも

まづしさにうとみて人等ひさしかる父に母にと金かりにくる

小島に花に趣味もつ父上は間近く家をたつとよろこぶ

病はなせれど髮のぬけて片手にてつかめぬかみさへ此の頃をすんなりすんなりとけて少し

はえぎはの地肌のまけをかくすすべもたなき朝もかがみにむかふも

おもぶせてひるなく虫をあらくさにききつつ人も多く語らず

ぬばたまの夜ふけの公園あからかにいくたびさぎのなきてゆくなり

夏物を買ふてくれるをことはりて

いらぬとは母につまにことはりてなはつげまほしみみなの吾と

呂お召の用なき吾が家居してこもらふその日いつくしみをり

コスモスのあはれはや咲くにはくまに異國の朝な秋はきにけり

別れきて朝ふむ歩道秋ひえて街はしじまの底にすなる

もつさりと心ふさぎしころかみのもつれよう／＼今朝をときたり

ほのうぬくやけし夕べを讃づたひよしずの茶屋に君はいまさん

くに、きのした

秋虫

夜冷えて燈火を慕ふ蟲の群の此の二夜三夜數を増したり

網戸開けし隙に這入りしつまぐろは白紙の上に音たてゝ飛ぶ

つまぐろは白き腹見せて硝子戸に灯をしたひつゝよこばひにはふ

公園にて

小松渡る風をきゝつゝ池邊なる芝生の上に轉び草嚙む

日頃來る小松の蔭の芝生には見覺えのある紙落ち居たり

草を嚙み轉びて見れば高まぞらにやがて去るらむつばくろのまふ

くさむらも夜は冷ゆるらし蚊の一匹ようようと飛びり壁にとまれり

犬の遠吠

街燈の丸く照せる道の上におけらは數多飛交ひて居て

知人のいねたる夜半に何事か驚けるらし犬の遠吠ゆ

夜冷えして人出でぬらし街燈の下に客馬車佇みて居り

何事の起りたるらむ犬の群はきりになきてまだなきやまず

秀島愁浪

ふるさと遠く

ゆふべ月低くはるかにふるさとの空にかかれりなつかしきかも

仲麿が唐のくににてものしたる歌を思ひつつ野に月を仰ぐ

歩くなりまちの地の理はわからねど寂しきあまり足にまかせて

哀しきは西の野のはて赤々と沈む夕陽をひとり見るとき

秋の入陽燃えて沈みぬ伊通何のそかひのまらに灯のともりたり

今更に他國にきたる感深しゆふべのまちを馳る幌馬車

病癒えて初の勤めに出る朝の心はればれし馬車をわが呼ぶ

或書生の手記（3回）

濱本貴美子

「リン、リン……リリ……」

「リン／＼／＼……」けたゝましい電話のベル

「はい、サイでござゐます」

「……………」

「あの農様でござゐますかあのですね、アノー、あのでござゐますね」

「……………」

「おい、おい、あのですねぢや分らないよ」

隣の娯樂室から侠夫様の聲

「あのー、あのでござゐますね、農様でござゐますね、あの――あのでござゐますね仁壽公堂とかの、あのー音樂會へおいで遊ぼしました」

「……………」

「あのでござゐますね、おそくなるとかおつしやつておいで遊ばしました」

「……………」

「はあ、はあ、藤原様、あの、あのですね、そう申上げておきます」

「チン！」

「おい、おい、ふみや！」

「およびでござゐますか」

「おい、お前あの ですねはよしてくれよ、お前のあれ聞くと僕胸が悪くなつてしまふよ、ほんとうに電話ぐらい滿足に掛けうよ、あのですねの連發ぢやないか、まるで」

「すみません」

「滿足に喋れもしない、そいから今何時だい」

「ヘイ、あら！此時計死んでゐますわ、先程迄……」

「さつき迄生きてたんか、ばかな、時計が死んだなんてお前一体氣はたしかなのか、おい！」

「すみません。」

「二言目にはすみません、それではすませないよ」

「すみません」

「何時だか、もういゝから見て來いよ」

物におびえきつたふみやの顏がほの暗い夕暮の陽にそれでもくつきりと私だけには美しく見えた、泣いてゐるんぢやないかしら。

九時過ぎになつたので私はロリーの鎖を解きに裏口の方へ廻つて行つた、これが夜學から歸つて來て殘されてゐる其日の最後の務めだ、栗の木の若葉がもうすつかり延びきつて五月も明日はお節句だ、母が今年はお前が居ないので竹卷は作らない積りだと言つて來たが、元氣らしい、今度週つたら驚くだらう、こんなに立派になつてしまつたから

オヤ！　誰か居る、台所の仕切の竹垣の處に動いてゐるものが、女ぢやないが、おふみちやんだ、泣いてゐる。

「どうしたの！」

「だつて、ちつとも治らないのよ」

「何が？」

「何がつて、私の言葉」

「あの夕方の事か」

「しつてゐたの」おふみちやんは恥かしそうに軀をくねらせた。

「うん、だつて耽みがいてたんだよ、僕だつてある自棄に光るコードバンとか言ふの磨き方が悪いつて隨分叱られるんだよ」

「でも私、云ふまいと思ふと倚口から出て來て、顏が赤くなると無中で倚言つてしまふんですの、」

「もうすぐ馴れるよ、すぐスラ／＼と話せる様になるよ、熟練と云ふのかな」

「だけど私、つい此頃よ、此間迄べルが鳴ると電話室の側にゐてもすぐ逃げて行つてゐたの、こはかつたのよ、のぼせ上つて聲が出なくなるのよ」

「それ御覽、すぐだよ、もう、」

「でも私、もう二年にもなるのよお屋敷に上つてから、ちつとも馴れてゐないわ、何時までも同じ事ぢやないかしら」

「そう、氣を落すなよ」

竹垣と八つ手の大きな葉を後にして立つてゐるおふみちやんが何となく可憐に思へて仕方がなかつた。

十月一日が近づいた 國勢調査に備へよ

申告方法を間違へない様に

緊張する調査當局

關東局管下の國勢調査は內地と同じくいよ〳〵十月一日を期して施行されるが調査當局は調査の萬全を期し着々すべての準備をとゝのへ當日を待ち侘びてゐるこの國勢調査は正確と迅速が最も肝要なるところより當局は一般世帶主に對する最後の注意として二十九日頃停車場、劇場活動寫眞館其の他群衆の出入か多い場所に一齊にポスターを掲げて注意を喚起し三十日には各學校に注意書を配付し學校長より各兒童生徒に對し十月一日施行する國勢調査の話をなしこれを各家庭に歸つて話すやう注意をなす筈である、なほ一般世帶主に配付濟の申告書記入につき當局は左の如く注意すべき諸點につき語る

各家庭に配布された申告書の記入心得に就ては左記のやうな注意が必要です

先づ自分の家庭世帶から申告せらるべき者の範圍を考へることが最も大切です

(い)調査の時期即ち十月一日午前零時(九月三十日から十月一日に移る夜半)に現在した者は家族であると否とを問はず總て漏なく記入すること

(ろ)十月一日午前零時に偶々屋外に在り又夜業夜勤宿直等の爲世帶のない場所に在つても十月一日中に歸るべき者は其の世帶に現在した者として記入すること

例へば散歩買物、訪問の爲外出し調査の時期を經過みだ者

郵便集配人、汽車、電車又は自動車の車掌、運轉手夜店の商人、車夫馬丁、漁夫にして夜間屋外に於ける執務營業の爲に調査の時期を經過した者

居殘、夜勤、徹夜、宿直等の爲世帶にない官公署會社事務所、工場店舗詰所番所見張所に在つた者

(は)十月一日午前零時に汽車、自動車、世帶のない舟筏又は陸路の旅行中であつて宿屋其の他世帶に宿泊しないことが豫め明かな者は最後に出發した世帶に現在した者として記入し又豫め明かでない者は十月一日午前八時迄に始めて到着した世帶に現在した者として記入すること(例へば九月三十日午後十一時十分發新京驛より大連に出發、したる者に十月一日午前八時迄に大連に到着しないから最後に出發した新京に現在した者として記入すること)

▲氏名欄

一、氏名の記入順序は世帶主、妻、又は夫、祖父、祖母、父、母、子、媳、孫、兄弟、姉妹、其の他の親戚、同居人、雇人、來客等の順序として記入すること、大勢の男女の子供を有する者は生年月日順にすること

寄宿舍、病院、宿屋、下宿屋船舶に在つては寄宿人、看護婦患者旅客下宿人船長船員船客等の順序に依り記入すること

二、出生後未だ命名しない者は名ツケズと記入すること

三、氏名の明でない者は通稱を記入すること

四、氏名を記入するとき同一の姓が續く場合も必づ繰返して氏名を記入し同、同上右同の如へ記入せざること

▲世帶に於ける地位欄

一、世帶主は主人、其の他の者は世帶主との續柄又は關係を妻又は夫、祖父、祖母父、母、長男長男の妻二女弟、同居人、雇人、來客に記入すること

二、寄宿舍病院、宿屋、下宿屋、船舶等に在りては寄宿人、看護婦患者旅客下宿人船長船員船客等に記入すること

三、同一事項が續く場合氏名と同樣繰返し記入もること

▲男女の別欄

一、男は男、女は女と記入すること

二、同一事項か續く場合氏名と同樣繰返し記入すること

▲出生の年月日欄

一、實際生れた月日を記入すること

二、生れた月日の不明な者は月又は日の上に不明と記入し生れた年も不明な者は見込の年齢を何歳と記入すること

三、外國人は本國の曆に依る年月日を記入しても宜しい

四、明治、大正、昭和の同一事項が續く場合も氏名同樣明治大正昭和を繰返して記入すること

▲配偶の關係欄

一、未だ結婚しない者は無に妻又は夫ある者は有內緣關係も同樣有とし死別又は離別して現に獨身の者は夫々死別又は離別と記入すること

二、有無が續く場合は必ず繰返して存未と記入し同又は右同の如く記入せざること

▲本籍民籍又は國籍欄

「一日本內地人は本籍地の道府縣名を例へば本籍福岡縣八幡市なれば福岡と記入すること(縣の文字は不用)朝鮮人、台灣人、樺太人南洋人は夫々朝鮮台灣樺太南洋と記入すること

二、滿洲國人及中華民國人は其の鄕里の省名で(例へば吉林省なれば吉林と記入すること省の文字不用)

三、其の他の外國人は各々其の國籍を記入すること

四、國籍の無い者はナシと記入すること

五、福岡、山東等が續く場合氏名同樣繰返して記入し同、同右の如く記入せざること

▲出生地欄

一、日本內地で生れた者は其の出生地の道府縣名を(例へば福岡縣八幡市で生れた者は福岡と記入す縣の文字不要)朝鮮、台灣、樺太、南洋で生れた者は夫々朝鮮台灣樺太南洋と記入すること

二、關東州及南滿洲鐵道附屬地で生れた者は其の地を管轄する警察署名を(例へば滿鐵本線虎石台で生れた者は奉天、大連市、伏見町で生れた者は小崗子と記入すること警察署と云ふ文字は不要)其の他滿洲國で生れた者は省名及縣名を(例へは吉林省伊通縣生れの者は吉林省伊通縣にて又新京附屬地外新發屯や城內で生れた者は新京特別市と記入すること)

中華民國人は其の鄕里の省名を(例へば山東省で生れた者は山東省に記入すること)

三、滿洲國及中華民國以外で生れた者は其の國名を記入すること

四、航行中の船舶で生れた者は水上生れと記入すること

五、福岡山東省等續く場合氏名同樣必ず繰返し記入すること

▲來住の年欄

一、本欄は日本人に限り記入日本人以外の者は斜線を引くこと

二、一回又は數回滿洲を引揚げて更に來住した者は最近の年を記入すること

三、一時的の旅行の爲に來て居る者は一時と記入すること(宿屋又は來客等の世帶では特に注意すること)

四、滿洲で生れて一度も滿洲を引揚げたことのない者及日本人以外の者は斜線を引くこと

五、來住年が同一でも必ず繰返し記入すること

六、斜線を引く場合は一人毎右上より斜條を引くこと

▲常住地欄

一、本欄は滿洲國人及中華民國人に限り記入すること

二、本籍の如何を問はず常住地の地名を記入すること

三、關東州及南滿洲鐵道附屬地に平常居住する者は其の地を管轄する警察署長を(例へば新京祝町に居住する者は新京と記入する事)

三、關東州及南滿洲鐵道附屬地以外の滿洲國に居住する者は省名及縣名を(例へば吉林省伊通縣に居住する者は吉林省伊通縣と記入すること)

四、中華民國に居住する者は其の省名を(例へば山東省なれば山東省と記入すること)

五、日本內地に平常居住する者は道府縣名を朝鮮、台灣、樺太、南洋に平常居住する者は夫々朝鮮、台灣、樺太南洋と記入すること

六、中華民國人以外の者は斜線を右上から左下に引くこと

七、同一事項が續く場合も必ず繰返し記入すること

以上一般の注意です、尤も此の注意書は各申告書の紙面に記載せられてありますから叮嚀に御覧になつて下されば間違なく記入出來ます特に注意する事は何れの欄でも同樣な事項が連續する場合同、同上右同の如く記入する事に絕對禁止である事と出生地欄では申告書の注意書きは滿洲國及中華民國で生れた者は其の省名とありますがこれが一部變更されて滿洲國で生れた者は、省名及縣名まで記入することになつて居り更らに常住地も同樣、滿洲國內に常住する者に、省名及縣名を記入することに變更されて居ります其の他疑問の場合は最寄の警察官吏派出所で問合せられると完全な申告書が出來上ります

銃後の義人 揃つて入京

滿洲の兵隊婆さんと親子の縁まで結んだといはれてゐる內地の兵隊兄さん福島市代表農軍慰問團々長熊田三郎氏等はきのふ午後二時着列車で兵隊婆さんの案內で來京した(寫眞は驛頭着の一行)

滿洲醫學界へ貢献の 久野博士に賜謁

―廿七日辭任挨拶に來京―

學問の獨立と自由確保を叫んで學園擁護のため矢表に起つた滿洲醫科大學教授醫學博士久野寧氏は滿鐵當局の横暴により十七日附解職處分に付されたが博士は從容として其の處分に甘んじ十數年間籠つてゐた學園に赫々たる功績をのこして近く內地に歸國することゝなり、關係機關に挨拶を兼ね廿七日午前七時半新京驛着の列車で來京同窓會支部幹事會員多數に迎へられてヤマトホテルに少憩の後滿洲國總務廳に張國務總理、長岡廳長を訪問挨拶を述べ同夜は同窓會主催の歡送迎宴に臨み廿八日午前十時宮廷府に於て特に滿洲國皇帝陛下に謁見を賜り同日午後二時の汽車で退京の豫定である、皇帝陛下の謁見は博士が多年滿洲の醫學界につくされた功績を賞せられる大御心から謁見を賜るものと仄聞する、なほ博士は十月初旬內地に歸國するはずであるが學界はこの世界的學者をすてず近く某方面に招聘されて我が國醫學界に大いに活躍される由であるが新興の滿洲から博士を失ふことは單に滿洲醫大の損失のみでなく滿洲將來のため大いなる損失として各方面から惜まれてゐる(寫眞は惜まれて滿洲を去る久野寧博士)

大汽株主總會 廿八日開催

【大連國通】大連汽船會社では明二十八日株主總會を開催し、任期滿了の專務增田[illegible]男氏重任の件及び社長制を復活し安田柾氏推薦の件を附議、承認を求めた上對滿事務局に對し認可申請を爲す豫定である

辻青年學校長 室町へ轉出

新京青年學校々長辻松太郎氏は近日中に室町小學校訓導に轉出するが今回の轉出は室町小學校訓導は名義のみに止り來る正月から開校の豫定で目下東五條通りに新築中の第六小學校の開設準備の仕事に專ら當る模樣

觀世流素謠會

新京觀華會では廿八日午後六時より太陽ホテルに於て最初の觀世流素謠會を開催する筈である

建築材料不拂ひ 訴へらる

市內入船町二丁目十五片桐菊治氏は新京特別市大同公園內納涼大會場內映畫館井口天祐に對し本年六月十六日から九月三日までの間に建築材料七百七十一圓五十三錢を現金取引の約束にて賣つたが井口は今日まで言を左右にして一錢も支拂はず他人に賣却して逃走せんとする形跡があるので二十六日片桐氏は遂に告訴狀を呈出した

山と積まれた賞品 麻雀大會近づく

いよ〳〵明日公會堂で開催

大日本麻雀聯盟新京聯合會主催、本社後援の全新京麻雀選手權大會はいよ〳〵明二十九日午前十一時から記念公會堂大講堂において開催されるが新京最初の試みとして愛雀家の間に非常な人氣を呼び申込み殺到し既に定員に達せんとしてゐる有樣である、競技は高點法(三莊戰)によつて行はれるが賞品は一等より四十等まで桐タンス、絹夜具、ポータブル蓄音機、懷中時計等をはじめ最低賞の四十等にもライター附のシガレットケースといふ豐富ぶりでその他副賞として大日本麻雀聯盟本部同新京聯合會、本社等より寄贈の銀製カップ等あり盛會を豫想されてゐる、なほ申込みはけふ中であるから至急申込まれたい

群馬の洪水被害 死者三百名

【前橋國通】群馬縣下の洪水被害は調査の進むに隨ひ慘眼も當てられぬ狀況が次から次へと操擴げられてゐる、殊に山間地方の被害は豫想以上に甚しく、廿七日午前群馬縣保安課に達した報告によれば死者實に三百以上に達し、然かも尚未判明の地がある、死者約八十六名、行衛不明百三十六名(殆んど絕望)重傷者五十一名

戰友のためにと 病床から獻金

歸還保養中の上等兵の美擧

在滿〇〇隊上等兵松浦武夫氏は病氣のため內地歸還保養中であつたがこの程原隊隊長宛在滿中の恩顧を感謝し恢復次第第一線に活動したき旨の懇切なる書狀を寄せると共に戰友のため使用されたいと十圓を送附し來つた、苦しい病床生活の中からの氏の今次の美擧は各方面から讃美されてゐる

乘客を護る貴き犧牲 岡本一等兵

尾高司令官匪襲狀況を語る

【圖們國通】今回圖們を訪れた〇〇〇〇隊司令官尾高少將は二十四日朝今次の京圖線黄參甸、二道溝間の匪襲狀況に就き左の如く語つた

今回の共匪は列車を脫線せしめた後前後左右五ケ所から猛射したもので、小なる部隊は十四、五名大なるは百名から百二十名位で總數約二百五六十名だつた、すべてラッパを以て行動をなした所より見て相當訓練のあるものらしい、列車は八輛編成だつたと覺えてゐる機關車と郵便車が脫線顚覆し次の三等客車と最後部裝甲車(警乘兵用)の二つには彈丸が集注されたと見えて彈痕が先頭客車に六十五發、後部裝甲車に八十九發あつた

□　□

此の先頭客車に公用で旅行中の〇〇部隊の岡本一等兵が乘つてゐたが氏は匪襲と知るや身を挺して車の入口に仁王立ちとなつて賊徒の侵入を防ぎ片手に拳銃、片手に銃劍をとつて數時間に亘り阿修羅の如く猛戰これ力めたが不幸流彈に胸部を射拔かれ扇口に[illegible]れて入口を塞いだまま壯烈な戰死を遂げたのは誠に鬼神をして泣かしむるものがあつた、又日滿巡警兩名の悲壯な奮戰の御蔭で幸ひ賊をして一人も車內に入らしめず滿鮮四名の旅客が輕傷を負うた外乘客は全部無事で一物も掠奪されたものがなかつたのである、後驅車の救援隊が賊の周到な遮斷によつて又も脫線したがドシドシ機關銃を浴びせたので左しもの賊徒も直ちに退卻の餘儀なきに至つた

□　□

之れと遭難車の警乘兵が最新の戰法により掃蕩と、防衞に全力をつくしたので警乘兵は一名も犧牲者を出さずにすんだし、且つ完全に列車の兩側に群り來れる賊兵を上より猛射して完全に擊退し得たのである、賊の遺棄屍體二は何れも金齒など入れた青年で主義宣傳の文書を所持せる等より見ても今回の賊は悉く共產匪であることは明瞭だ追擊隊は機敏にも賊の退路を斷つて後方を扼し、二十三日朝逃ぐる賊團に猛擊を加へたので賊は又復死體五つを遺棄して逃亡した、そウ今頃、(廿四日朝)は殆ど完全に仕留めたであらう、警乘兵の賊襲に對する掃蕩、防護の戰法は此の前から新機軸を出したもので今後恰かも之を實際に應用したもので案の條最も效果的なることを確め得た最早此の確信を摑んだからは今後假令夜間の襲擊を受けても警乘兵の威力で旅客には絕對に危害なきを保することが出來る拉致など勿論掠奪等にも決して遭ひはせぬといふ確信を得た

□　□

尚ほ尾高司令官は廿四日暮僚を從へ圖佳線に向ひ、廿六日再び圖們に引返しそれより吉林〇〇〇〇部に向つたが、因みに壯烈な戰死を遂げた岡本一等兵は千葉縣の出身で、將軍は圖們の宿舍から一等兵の親許へ淚溢るる長文の弔慰電報を發つた由である

新京署武道部 けふ第一回試合

新京署武道部では二十八日午後一時から構內振武館に於て發會式を兼ね第一回の試合を開催することとなつたが試合は執行係對外勤で火の出るやうな猛試合が展開されるものと大いに興味をかけられてゐる

庭球大會 都市代表決定

滿洲國體育聯盟網球協會主催の第二回全滿庭球選手權大會の各都市代表は左の如く決定した

△ハルビン　リーゼル、ルイコフ、呂泰
△新京　原田、馬場
△安東　庄野、小濱

因みに決勝戰は廿八日、廿九日の兩日午後二時より中銀コートに於て行はれる

愛よ戰ひとれ

(禁上演映畫化)　福田正夫　泉武久畫

(四十一)

吹雪(四)

發車の迫つたことを知らせるベルが、鳴りひゞいた。──俊一は車中の勝美にいはなくてはならなかつた。

「おい、もう出るぜ」

「いゝの」

ひどく混ではゐなかつたが、彼女は車内の目をひきつけてゐた。彼女はその目に反抗するやうに、邦雄の方にすりよつて、

「いゝの！」

とまたくり返した。

「馬鹿だな、もう出るじやあないか？」

「いゝのよ、切符を持つてるんですもの……」

彼女は皮肉に嘲つた。

「エッ！」

俊一が怒にとびついた。──

「ど、どうするんだ？」

「送つて行くの、宇都宮まで、……いやがられたつてもね」

彼女は青い切符を見せた。

「お、おどろいたね」

俊一はあきれて默つてしまつた──邦雄も驚いて彼女をおすやうにした。

「御厚意はうけますから、……下りて下さいませんか」

「いや！」

彼女は顏をゆがめた。

「私は、厚意なんてないの。あなたを困らせてやるんだわ」

「無茶だなあ」

俊一が外からいつた。

「下りろよ」

「いや！」

「歸りがおそくなるぜ」

「いゝの、かまやあしないわ。……──心配なら、兄さんも一しよにくればいゝじやあないの」

「おれは狂人のお供はいやだ！」

俊一は邦雄を見た。

「困つた女だ！……大瀬君、なるべく大宮あたりで下ろしてくれたまへ」

「えゝ、いゝです。……が、まだ下りられますよ、孃さん！」

「孃さんなんか、よしてよ！」

勝美がつんとしたが、その途端に列車がうごき出した。

「しようがない、僕も行かう！」

妹思ひの俊一は、からなるとたゞ怒つてゐられなくて、一瞬に決心すると列車にとび乘つてしまつた。彼はやがて二人の前に座をしめた。

「こなくてもいゝのに……」

「いかんよ、勝美！」

俊一はしんみりといつたのである。

「今日はともかく……、おれはお前が心配になるなあ」

「だつて……」

「勝美！」

俊一は呼びかけた。

「なんですの」

「お前は、お前は、かうした行爲で身をあやまるぞ。……これが大瀬君だからいゝ。もし外の人間だつたら、一生が駄目になつてしまふこともあるんだ！　なあ、おれはお願ひする、もつと女らしくなつてくれ」

「でも！」

勝美は涙ぐんで唇をかんだ。

「私、私、私は不幸よ」

「なにが？」

「そ、それでなければ、母さんの、どの奴隷になつてしまふ」

彼女は泣き出したのである。」

宮田號　東工號　速歩號　其他高級車

代理店

移轉御通知

今回店舗擴張のため左記へ移轉致し設備に萬全を期し皆様の御來店を御待ちして居りますから倍舊の御引立の程御願ひ致します

新京祝町二丁目十八(新キネ前)

自轉車商　工藤商會

電話五九二二八番

賄付部屋貸特設

◎一、六疊間一人、一室(一ケ月金六十圓也)賄付電燈料煖房費入浴料を含む

◎お二人様以上の御同宿の場合は特に便宜をはかります

滿員にならぬ内にお早く御申込を願ひます

滿鐵　關東軍　鐵路局　御指定

協和旅館

食道樂

みやよし

お氣輕にお氣持ちよいお座敷で

入船町四丁目十九

電話四八八八番

新着品

紀南の珍品　鶯の宿

專賣特許　東京甘酒

江戸の珍味　磯乃月

銀座　丸德本店

內科　小兒科

往診　入院隨時

室町三丁目　公學堂前

福島醫院

電話三八五八番

金物百貨店

掛賣を廢して「現金制度」最低の値段にて皆様へ

新京三笠町　西脇洋行　電話二二四〇番

新京興安大路　新盛洋行　電話三三〇六番

テーム水

たむし　水虫　いんきんに　ひふ病良藥

主効

いんきん　たむし

水虫　ひぜん

くさ　ただれ

かゆがり　あせも

しらくも　はたけ

なまづ　濕疹

とびひ　吹出物

藥　漆のかぶれ

蚤　蚊　ぶと　南京虫

毒虫の刺傷　皮脂漏

皮膚病良藥テーム水が上記の皮膚病諸症に最も適藥であることはオール日本の聲です。御覽なさい全國の藥店で一番よく賣れてゐる皮膚病藥と云へば誰でも皮膚病良藥テーム水であると云ひます。一番よく賣れると云ふことは一番よい皮膚病藥であると解して差支へありません。其の筈です。皮膚病良藥テーム水は從來の皮膚病藥の缺點と不滿足を補つて最も合理的に創製されてをるからです。

夏季は皮膚病の跋扈跳梁を極むるの時です。皮膚病は體內の毒が吹きでるのだから放つておいた方がよいなどと云つて等閑にしておくと飛んでもないことになります。皮膚病患者の道は只一つ　曰く皮膚病良藥テーム水

特長

◎シマズ　痛まず　內攻せず　つけて汚れず　目に立たず　淺くつけても深く効き　黴菌を殺し　毒を消し　痛さ痒さを去り　用法簡便にして着々ヨクなる

皮膚病良藥テーム水藥價二十錢、三十錢、五十錢、一圓、二圓、送料內地十錢

(全國藥店にあり)

万一品切れの節は代金を添へて左記へ御注文あれ速時送金す

しつ造藥名テーム水と必ず御指名の上御買取下さい

發賣元

東京市芝區田村町四　電話芝一八七四番　振替東京六〇一〇〇番　東京藥院本店

大阪市天王寺赤十字病院前　電話天王寺五五五六番　振替大阪五〇三〇八一八番　東京藥院支店

毛はえ藥フミナイン

田中醫學博士の創製にして、毛生に必要な、適度の殺菌、興奮、榮養の三作用を兼興へる、恰も草木に對する土壤、日光、肥料にも比すべき良藥です。荷くも毛の不足不恰好の方すぐ試用あれ

定價五十錢、九十錢、一圓六十錢、三圓、全國各藥店にあり

◎說明書呈前記東京藥院へ申越次第進呈

吉野町

「御壽司」の御下命は！

浪花鮨

御旅行・野遊には當店自慢の松前壽司を!!

「出前迅速」

電話三二八三番

本店　東京市日本橋區室町二丁目一番地

資本金　一億圓(全額拂込濟)

三井物產株式會社

新京出張所

新京室町四丁目四番地

電話

二三六〇　所長、所長代理

二二九八　雜貨

三二八四　穀肥

三二八八　穀肥、雜貨

二七六三　三井倉庫

六六〇七　機械

二三〇二　保險、庶務

三三九八　電報

二四四四　保險(滿人用)

二〇六三　勘定、出納

取扱品目　穀物、穀粉、大豆其他豆類、大豆粕、豆油、砂糖、セメント、燐寸、紙類、麻袋、石鹸、メリヤス類、日東紅茶、陶器類、人絹織物、石油、乾電池、自轉車、鐵道、橋梁用品一切、電氣機械機具類、蓄音機、ストーブ、電線、金物、木材、化學肥料、工業藥品其他食料日用雜貨類

保險代理業(火災、海上、運送、自動車、傷害、各種保險)

帝國發明協會金牌受領
帝國發明協會有功賞受領
朝鮮軍經理部賞狀受領

一家各界御指定御採用

宮崎式ペーチカ

宮崎組新京支店

新京祝町二　電話二一四三番

人畜無害

強力殺虫剤

効力絶大　世界無比

デストル

蠅、南京蟲、蚊、白蟻、蚤、虱、其他害虫驅除

(市內有名藥店、雜貨店ニアリ)

新京特約店

富屋洋行

新京吉野町一丁目一〇　電話四三七六番

土地家屋　借家管理の

賣買の方は是非萬成社へ

御用命は萬成社へ

新京東一條通五十四

萬成社

久保勝太郎

電四八八四番